

関大

第569号

平成24年(2012年)5月15日発行
奇数月15日発行・昭和30年8月6日第三種郵便物認可

関西大学校友会

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 関西大学校友・父母会館
電話06(6368)1121(代) FAX06(6380)8476
URL <http://www.kandai-koyukai.com/>
Eメール koyukai@ml.kandai.jp

第98回定時代議員会を開催

平成24年度事業計画と収支予算案を承認
中野寛成議員が大震災に関する特別講演

天神祭奉拝船「関大丸」、乗船者募集!!

2012スプリングフェスティバル

絶好の花見日和に全国から7000人参集

6900人の新関大生誕生—13学部の入学式
今春開校の留学生別科でも初の入学式挙行





「第3学舎」

昭和42年（1967）に設置された社会学部の学舎として、翌年春に千里山キャンパスの外苑に当たる、経商学舎の道を挟んだ西側に竣工。4月24日に落成式が行われた（＝写真右端の建物）。

その後、学生定員、教員数の増加、カリキュラムの充実等に伴い、環境の整備・充実のため、昭和61年（1986）に現学舎の西側に5階建ての建物が増築され、4月に竣工（＝写真中央の建物）。両学舎は渡り廊下で結ばれた。

更に、平成14年（2002）夏には、その西側に地上10階建て（地下1階付）の千里山キャンパスでは一番高い建物が建設され、9月に竣工。名神高速道路からの景観や、法文坂からの景観も一変した。

また、2階には初の本格的なシアター形式の教室として「ソシオAV大ホール」が設置された。



関大 569号 目次

本部活動

- 2 **第98回定時代議員会を開催**
平成24年度事業計画と収支予算案を承認
校友総会は10月21日（日）にBIGホール100で開催
～任期満了による代議員の改選を付議～
中野寛成議員の東日本大震災に関する講演を聞く
天神祭・船渡御（7月25日）「関大丸」乗船者募集!!
- 4 おめでとうございますー春の叙勲・褒章受章者
- 6 連携プロデューサーの企業訪問ーものづくりの現場のいまー（5）

大学・学生関係

- 8 6900人の新関大生が誕生ー13学部の入学式を挙行
今春開校の留学生別科でも初の入学式
タイ・バンコクオフィスを開設ー3カ所目の海外拠点として
体育の世界大会優勝者などに大島賞、校友会は会長から副賞授与
- 14 学校法人関西大学の募金事業について
- 16 きらっ人校友録 ③4 ジャズボーカリスト 五十嵐あきこさん
- 18 **2012スプリングフェスティバル**
絶好の花見日和に全国から7000人参集
各団体の総会等開催報告（校友会登録組織を中心に）
- 30 好友抄ー神奈川支部役員 八木 晟次氏（昭18大予1）
- 32 北から南からく各地支部だより>
- 42 新刊紹介 校友短信 訃報 会と催し
- 45 **オース！ごきげんさん。（42）**
自分が動けば、社会も動くー門林 良和（上）



草の甲

6年前から六甲全山縦走（須磨浦公園～宝塚の約56km）に挑戦している▼11月の夜明け前午前5時過ぎ、須磨浦公園に蟻の行列のごとく、人、人、人、頭にライトをつけ、ひたすら前を歩く人の姿を追って、一歩、一歩、午後9時過ぎまで約56km先の宝塚のゴールを目指して、ひたすら歩き続けるのである▼こんなにも過酷な山歩きを考え出した先人は、昨今の東京や大阪市民マラソンに勝るとも劣らない人気で、参加申込書入手が困難を極めているとは思ってもよらなかったであろう▼よく、マラソンを人生に例えて「山あり谷あり」と言われるが、この六甲全山縦走に参加、完走した人なら誰もが身にしみて実感しているのではないだろうか。11月の本番に向け、残夏厳しい9月から練習を開始し、徐々に距離を延ばし持久力などをつけていく▼過酷な練習だけでなく、褒美にその日の練習が終わって、下山後、風呂で汗を流した後の冷たいビール一杯は言葉に言い表せない。この喜びがあるからリタイヤせずに辛い練習に耐えられるのである。ましてや完走した時は、それは何物にも代え難い達成感と感動に酔いしれ、至福の時を迎えるのである▼そして、毎年山に、おごることなく、初心を忘れず、体調管理に配慮し、真摯な態度での練習を教えてもらっている。是非、一度5月の新緑の山を歩き、おいしい空気を満喫してみませんか。

第98回定時代議員を開催

平成24年度事業計画と収支予算案を承認

校友総会は10月21日(日)に開催

◆◆任期満了による代議員の改選を付議◆◆

第98回定時代議員会が、3月24日午後1時から千里山キャンパス・100周年記念会館で開催され、全国各地から640余人が出席、平成24年度事業計画案、収支予算案について慎重審議の結果、原案通り可決承認した。

なお、今回は東日本大震災から1年となることから、校友としてこれから何をなすべきかを考える機会として、議事終了後、当時国務大臣・国家公安委員長を務めていた中野寛成衆議院議員に、「東日本大震災の現場で、そのとき何があったのか、復興に向けて何をすべきか」をテーマに講演いただき、出席者は熱心に聞き入っていた。

中野寛成議員の東日本大震災に関する講演を聞く

田中義昭副会長の開会挨拶、学歌斉唱の後、物故校友・大学関係者と東日本大震災で犠牲になられた多くの方々の冥福を祈り、黙祷が捧げられた。

来賓紹介があり、寺内俊太郎校友会長が挨拶。寺内会長はパワーポイントを使い、まず「今後10年20年と忘れてはならない出来事が昨年あった。一日も早い復興が今後の礎となると感じている」として東日本大震災の被害映像を紹介。続いて、機関紙「関大」新年号

の年頭所感で述べた「今こそ絆を大切に」の内容をかい摘んで説明。併せて上原理事長、学長の言葉も紹介し、「21世紀社会の継続的発展を支える総合大学として、人類社会の明るい未来に向けて有為な人材を社会に送り出す使命のため努力している母校にエールを送りたい」と述べた。昨年度後半の本部事業を紹介の後、最後に畑下辰典顧問の随筆「熱き母校愛で戦後関大を築く―岩崎卯一先生と久井忠雄先生―」を紹介し、「元氣な校

友会として、皆さんの熱意と総力を結集し、それを熟慮し実行するというところで会務を遂行してきた。任期最後の年を迎え、新しい校友会を構築して次期に伝えたい」と、今年の抱負を述べた。

来賓挨拶で、上原洋允理事長は、「今後の日本の発展のためには人材の育成しかない。その意味で、全ての大学は大事な役割を担っている。国際化も必然であり、関西大学も南千里国際プラザを拠点に積極的に推進している。将来的

には2千人の、それも質の高い留学生を育てていきたい。

また、今年4月に社会安全研究所の博士課程後期課程が開設される。ここでも国際的に通用する防災・減災のフロントランナーを育成していく。

少子化の中で、大学の約半数が定員割れ、3分の1が学協会計上で収支決算が赤字という厳しい環境があるが、関西大学は教員・職員が一体となって人材の育成に取り組んでいた。校友各位のご支援をいただきたい」と協力をお願いした。

楠見晴重学長は、「就任以来、関西大学をアジア太平洋地区のハブ大学として機能させていくと言いつつ、そのための施策も講じてきている。関西大学は、残念ながら国際化のトップランナーではないが、今後積極的に推進していく。

そこで校友会に2つのお願いがある。1つは校友会も国際化を進めていただきたい。海外支部の数は関学21、立命23、同志社13となっており、ライバル校の後塵を拝している。本年度の事業計画書にも

記載されているが、是非積極的に進めていただきたい。

もう1つは、ソーシャルネットワークの構築で、若い人を取り込んでいただきたい。今、若いクラブOBなどはフェイスブック等を通じて独自のネットワークを作り、連絡を取り合っている。これを1つに纏めれば、校友会の活性化にも繋がる。大学としても早急に取り組んでいく」と、要請した。

議事に移り、都合で欠席の日根直人議長に代わり、山田拓幸副議長を議長に審議が進められた。

第1号議案「平成24年度事業計画(案)について」と第2号議案「平成24年度収支予算(案)について」は、一括上程され、北嶋弘一総務、伊藤晃





質疑応答に入ったが、会場からは特に質問もなく、両議案とも原案通り承認され、石井國男副会長の閉会挨拶で終了した。

質疑応答に入ったが、会場からは特に質問もなく、両議案とも原案通り承認され、石井國男副会長の閉会挨拶で終了した。

また、校友会の社会連携活動の一つとして、各組織による地域貢献活動を精力的に展開し、それら活動に対して本部としての支援制度にも取り組むことになった。

なお、本年9月末で学校法人関西大学役員の任期が満了するため、法人の寄附行為によって、校友会は校友評議員の選出母体となり、校友評議員候補者50名以上100名以内の推薦を行う。などの事業が計画されている。

質疑応答に入ったが、会場からは特に質問もなく、両議案とも原案通り承認され、石井國男副会長の閉会挨拶で終了した。

また、校友会の社会連携活動の一つとして、各組織による地域貢献活動を精力的に展開し、それら活動に対して本部としての支援制度にも取り組むことになった。

充事業、三木允子広報、渡邊泰之組織、植田芳光財務の各部長が所管事項を詳しく提案説明した。

24年度の主な事業計画としては、校友総会は10月21日（日）午後1時から千里山キャンパス・第2学舎4号館「BIGホール100」で開催される。本年度は、任期4年の役員の改選期に当たするため、議事として「任期満了による代議員の改選」が付議される重要な総会となる。第2部の

記念講演では、講師に学校法人J E T日本語学校理事長の金美鈴先生を予定している。

2年ぶりとなる全国組織代表者会議は、7月7日（土）午後1時から、今回も出席者を地域支部に限定して100周年記念会館で開催。恒例の天神祭・奉拝船「関大丸」の就航は7月25日（水）に実施。校友落語家による「関大寄席」は10月28日（日）に天満天神繁昌亭で予定されている。

隠れた警察の活動紹介 会場に深い感動広がる

議事終了後、「東日本大震災の現場で、そのとき何があったのか、復興に向けて何をすべきか」をテーマに、当時国務大臣・国家公安委員長を務めていた校友の中野寛成衆議院議員（昭33学法）の特別講演が行われた。

中野議員は、国家公安委員長就任時、警察幹部の前に「正義を権力から護れ」と訓示したことをまず紹介。大震災

に関して、水道も止まった現地で、僅かなボトルの水を使って遺体を清めた警察学校の生徒たちの活動から話を始め、警察と自衛隊の装備の違い、阪神淡路大震災と東日本大震災との違いを紹介しながら、当時、自衛隊のような装備や車両を持たない警察が、被災者の救出・救助にどのように当たったかや、福島原発への最初の地上放水に取り組んだ時の状況、通信手段が壊滅した中で自治体の連絡などに活躍した警察無線と中継局を命懸けで整備し守った通信隊など、マスコミの報道では知り得なかった現場の切迫した生々しい状況を詳しく説明。

最後に、被災者・子どもたちと警察官とに芽生えた心の絆



の証として、「私たちのパトカーを見ると、子どもたちが整列して心からの敬礼をしてくれた。あんな綺麗な敬礼を今まで見たことがなかった」など、現場での感想を書いた警察官の手紙を紹介し、使命感に燃えて活動した警察官の姿を髪髯とさせるエピソードを披露して講演を終えると、会場からは、深い感動を伝える大きな拍手が起こった。

休憩後、同会場で有志による懇親パーティが開かれ、古川好男副会長の開宴挨拶、池内啓三専務理事の発声で乾杯し、約1時間に亘り懇親を深めた。

なお、休憩時間や帰りには受付に置かれた東日本大震災義援金募金箱に出席者から浄財が入れられた。

思い出がよみがえる

ANSAI
KUグッズ
UNIVERSITY

記念品やお土産に是非ご利用下さい

●詳しいお問い合わせは

関西大学生活協同組合 TEL:06-6368-7536 E-mail: ku-shop@kandai.ne.jp

凜風館3F 関大グッズコーナーにて販売しております



インターネットからお申込みいただけます ⇒ <http://www.kandai.ne.jp/>

海外支部強化に向け泰国千里会と意見交換 バンコクオフィス開設を機に会長らが訪泰

4月25日の関西大学バンコクオフィス開所式出席のため、タイ国・バンコクを訪問。

校友会からは、寺内会長と奥田事務局課長が訪泰し、4月22日に市内レストラン「マングーツリー」で、泰国千里会からは高木浩一氏（昭62学社）と植田裕照氏（昭57学法）が出席し、校友会としては初めて、泰国千里会との交歓を行った。

これまで、メールでの交換が主であったが、執行部の重点施策である海外支部強化に伴い、実際にお会いして、双方の状況報告や展望、要望など、活発な意見交換を行った。今後も情報交換を行いつつ、本部からの訪問も増やしなが



いくことを確認した。

25日の開所式には、植田氏とともに泰国千里会・中村良三会長（昭40学工）と事務方の安楽成司氏（平元社）も出席され、懇親を深めるとともに、意見交換を行った。

昨年の台北訪問により、交流を深化させた台湾留学生OB会、そして今回の泰国千里会。

校友会としては、平成24年度事業計画に基づき、取り急ぎ海外支部名簿を整理して、登録準備に移り、体制を整えていく。そして、その他海外地域もできるだけ訪問して、支部の設立を精力的に推進していく。

常議員会を6部体制に 「学生支援部」を設置

校友会の学生振興支援基金のあり方と、執行部内に「学術・文化・スポーツ振興部（仮称）」の設置につき検討する「学生振興支援基金検討プロジェクトチーム（PT）」が、正副会長部長会の指示により、各部から副部長を中心に2人の委員を選出して昨年11月17日に発足。PT（座長・大東恭治総務副部長）では、都合4回の委員会を開催して、審議を重ね、4月19日に、①常議員会内に「学生支援部」を新たに設置する、②所属常議員は12名とし、現在15名の部を12名にする、ことを骨子とした答申を会長に提出した。

これを受けて寺内会長は、4月26日開催の第12回常議員会に「常議員会運営規則」の改正案を上程。審議の結果、可決承認された。改正案では、常議員会に、総務・事業・広報・組織・学生支援・財務の各部をおくこと、総務部及び事業部の所管だった「学生振興支援基金に関すること」「在学生の課外活動の援助に関すること」が学生支援部の所管となり、「その他学生会員の支援に関すること」が加えられ、一本化された。

天神祭船渡御の「関大丸」 今年も乗船者募集!!



大阪の夏を彩る天神祭。そのクライマックス・船渡御が7月25日（水）夕刻から大川で行われるが、校友会では今年も奉拝船「関大丸」を就航

しています。

日時 7月25日（水）夕刻～
参加費 30,000円
（同伴者も同額、弁当・飲物・うちわ等付）
定員 先着160人
（ご家族等の同伴を歓迎します）

◎関大丸への乗船をご希望の方は、氏名、卒業年・学部、住所、電話番号（同伴者のいる場合は同伴者名）を記入して、校友会事務局へ郵送またはFAX（06-6380-8476）でお申し込みください（先着順受付、定員になり次第締切）。

◎参加申し込みの方には、後日改めて参加費振込用紙と集合時間・場所等を明記したご案内をお送りします。

します。

毎年好評で、地元の方々からも温かく迎えられ、地域振興に一役買うとともに、「強い関西大学」を市民にアピールしています。

千年の歴史を有し、日本三大祭に数えられる天神祭を、「関大丸」の船上から満喫しませんか。校友、ご家族、お知り合いの皆さまの乗船をお待ちし

なお、学生支援部（大東恭治部長）の所属部員については、現執行部の任期が残り1

年であることから、PTの委員が部員を兼ねることに対応することになった。

おめでとうございます—春の叙勲・褒章

政府は、4月29日付で平成24年度春の叙勲受章者を、28日付で褒章受章者を発表しました。それに先立ち4月16日付で危険業務従事者叙勲受章者を発表しました。

校友会事務局で確認できた関西大学関係者は次の皆さん。心から祝意を表します。

なお、調査は近畿2府4県を中心に行っていますが、万全ではなく、未掲載の受章者を存じの方は校友会事務局へご連絡ください。よろしくお願いします。

叙勲

◆旭日中綬章

小寺一矢（こてら・かずや）
昭42M法 70歳。弁護士・元日弁連副会長。長岡京市梅ヶ丘2-41。

◆瑞宝中綬章

西尾哲夫（にしお・てつお）
昭40学法 70歳。元奈良県副知事。大和郡山田市下三橋町542-52。
村地 勉（むらち・つとむ）
昭40学法 70歳。元松山家裁所長。池田市洪谷2-4-16。

◆旭日小綬章

越智一雄（おち・かずお）
昭41学法 70歳。元兵庫県議会議員。西宮市東鳴尾町2-1-13-201。
茶谷輝和（ちやたに・てるか）

ず 昭38学経 71歳。元泉大津市長。泉大津市戎町10-20。

橋本博之（はしもと・ひろゆき）
昭41学法 70歳。尼崎信用金庫理事・全国信用金庫協会副会長。尼崎市東園田町8-101-1。

◆瑞宝小綬章

大谷久仁雄（おおたに・くにお）
昭40学法 70歳。元尼崎税務署長。豊中市上野西1-3-36。

大原武人（おおはら・たけと）
昭41学法 71歳。元大阪簡易裁判所判事。奈良県生駒郡三郷町三室1-6-10。

竹村順一郎（たけむら・じゅんいちろう）
昭35学法 75歳。元大阪小包郵便局長。大阪市城東区今福西2-17-36-806。

森野茂樹（もりの・しげき）
昭40学法 71歳。元兵庫県部長。神戸市北区唐櫃台4-4-6。

◆旭日双光章

河野勝雄（かわの・まさお）
昭40学商 70歳。兵庫県麵類食堂業生活衛生同業組合理事長。神戸市中央区八幡通4-2-12。

◆瑞宝双光章

三浦 清（みうら・きよし）
昭35M文 77歳。元公立中学校長。神戸市西区竹の台5-19-51。

◆旭日单光章

前川倫廣（まえかわ・みちひ

ろ 昭39学法 70歳。元岸和田市公平委員長。岸和田市箕土路町3-18-17。

◆瑞宝单光章

伴 克也（ばん・かつや）
昭54学工 56歳。三菱電機エンジニアリング原子力技術部長。尼崎市塚口6-31-12。

危険業務従事者叙勲

◆瑞宝双光章

五十嵐尋人（いがらし・ひろと）
昭42学法 70歳。元警視正。枚方市翠香園町16-1。

小倉健司（おくら・けんし）
昭42学法 70歳。元警視正。八幡市男山長沢15-28。

広田邦男（ひろた・くにお）
昭42学法 69歳。元大阪市消防監。八幡市男山竹園4-102-206。

小谷彰佑（こたに・しょうすけ）
昭40学法 70歳。元大阪府警視。堺市堺区緑ヶ丘中町3-74。

園田憲治（そのだ・けんじ）
昭40学経 71歳。元大阪府警視。豊中市刀根山2-9-32。

仲 幸信（なか・ゆきのぶ）
昭42学法 68歳。元西宮市消防監。三田市川除389。

松田 章（まつだ・あきら）
昭44学工 65歳。元大阪市消防監。大阪市平野区長吉長原東3-13-18。

三戸淳吉（みつと・じゅんきち）
昭42学経 72歳。元神戸市消防正監。神戸市中央区神若

通3-2-22。

◆瑞宝单光章

寿 久光（ことぶき・ひさみつ）
昭38学文 72歳。元兵庫県警部。神戸市垂水区大町4-2-26。

田中克之（たなか・かつゆき）
昭41学商 68歳。元大阪市消防監。松原市岡4-10-15。

永浜 清（ながはま・きよし）
昭37学商 72歳。元兵庫県警部。神戸市須磨区養老町1-8-26。

藤城博夫（ふじしろ・ひろお）
昭39学法 70歳。元大阪府警部。高槻市大冠町2-7-17。

枘田善二（ますだ・きょうじ）
昭39学法 70歳。元大阪府警部。奈良市秋篠三和町1-9-8。

松阪喜雄（まつさか・よしお）
昭43学法 70歳。元大阪府警部補。岸和田市八阪町2-2-37。

村田武久（むらた・たけひさ）
昭39学法 71歳。元大阪府警視。河内長野野南花台5-2-1。

吉田周知（よしだ・かねとも）
昭42学法 70歳。元大阪府警部。明石市小久保6-7-13。

褒章

◆黄綬褒章

高橋一夫（たかはし・かずお）
昭29学法 80歳。司法書士。宝塚市星の荘25-2。

若手校友落語家応援「関大寄席」 10月28日（日）に天満天神繁昌亭で開催

昨年開催して好評だった若手校友落語家による「関大寄席」を、本年度は次の日程で開催することになった。

この催しは、毎年7月の天神祭 船渡御 奉拝船「関大丸」の就航や天神橋筋商店街との本学社会連携活動等を通じて、何かと縁の深い天満天神繁昌亭を会場に、将来有望の若手校友落語家を応援するため開催するもの。

出演者、申込方法等は確定次第案内しますので、知り合いの方も誘いのうえ、多くの校友の参加をお待ちしています。

◆期 日 10月28日（日）9時半開場、10時開演～11時半閉演。

◆場 所 天満天神繁昌亭（大阪市北区天神橋2-1-34）

※問い合わせ等は、校友会事務局（06-6368-0042）まで。

「関西大学校友会産学サークル」の構築を目指して

連携プロデューサーの企業訪問 ―ものづくりの現場のいま―

5

産学協働の出会いの接点づくり

企業の経営・技術を取り巻く環境が、前提として認識されている基本的な事柄が大きく変わろうとしています。産学連携においても今までは違う大学との関わり合い、すなわち柔でない、真に有効な連携を追求する産学協働が不可欠になっていきます。こうした動きから、校友会に企業人の叡智を結集すると共に、大学を理解し、想いを共有するための仕組みが必要であると考えます。

企業や社会のニーズの分野毎のプラットフォームで構成した産学サークルは、校友が経営する企業が知識と想像力を駆使することでネットワークの総力を発揮し、具現化する複合企業集団として大学との新たな産学連携の活動を支援します。平成23年度から連載を開始し

関西大学校友会産学サークルは、校友会における産学連携活動の支援事業として、校友が経営する企業が産学協働を主眼にした連携活動を進めるための拠点としてのプラットフォームの形成を目指しています。ものづくりの継承と発展を目指し企業や社会のニーズを反映して、先ずは企業人の交流からつながりを進め、双方向の情報流通による共通認識と信頼の醸成をはかる企業のネットワーク活動を展開し、プラットフォームの形成を実現します。

関西大学校友会産学サークル

ものづくりに関わる技術と知恵を結集した複合企業集団

プラットフォーム
材料・製造加工

プラットフォーム
食料・農業

双方向の情報流通

プラットフォーム
医療・健康

プラットフォーム
環境保全

企業ネットワーク

プラットフォームづくり

プラットフォーム
エネルギー

プラットフォーム
.....

ている「連携プロデューサーの企業訪問―ものづくりの現場のいま―」は、伝えること、知ること

の一步と考え校友が経営する様々の企業を順次紹介しています。ものづくりの技術と知恵に関わる情報の集積が、産学サークルの取り組みに賛同する企業との連携を図るネットワークキング活動を推進します。

機関紙「関大」掲載号と企業概要

2011年(平成23年)

9月(第565号)

1 中嶋金属株式会社

常に、できないとされていることが重要であり価値の高いことに挑戦する

特殊かつ高度の電気メッキ・無電解メッキの基盤技術を保有し金メッキ加工を得意としている。特に、金、銀、ロジウムなどの貴金属メッキ加工は、特殊な技術で様々なニーズに応えている。



2011年(平成23年)

11月(第566号)

2 株式会社日本スペリア

何でもよく見て、変化を感じる、そして予測する

はんだ付・ろう付用金属接合材料を開発、製造販売している。暮らしに密着した製品からハイテク製品まで高度化、多様化する金属接合材料の新しいニーズに応えるものづくりを展開している。



3 株式会社テクノフロント

三つの汗、身体の汗(行動する)、頭の汗(知恵を出す)そして心の汗(意識する)をかく

主要鋼材のブラインドメーカーの工具鋼を用いた金型入子材・金型ブレイト材の製造と、ミクロン精度、ナノ精度の精密機械加工という2つのコアビジネスで事業を展開している。



2012年(平成24年)

1月(第567号)

4 株式会社をくだや技研

独創技術がノウハウを生み出します
油圧ポンプの製造で培った油圧技

術を基盤技術に荷役運搬機械および環境機器の最終完成品メーカーとして製造、販売を行っている。物流機器の新製品、新市場、新ビジネスの創出を目標としている。



5 サンユレック株式会社

自分の足で歩き、自分の目で見て自分の頭で考える

エポキシ樹脂、ウレタン樹脂などを主原料に、電子、土木・建設、半導体・LED封止の各材料及各種接着剤を用途、目的に合わせて開発して製造、販売している。個々のニーズに最適な調合でベストミックスされた合成樹脂を提供している。



2012年(平成24年)

3月(第568号)

6 株式会社三和鉄螺製作所

自分たちの作る製品が「ベスト」といわれるものを

特殊サイズ、特殊形状のねじおよびあらゆる産業分野向けの長尺ボルト、Uボルトなど、多品種のねじの製造、販売している。職人の勘や経験に頼らず注文から納入まで、圧造、転造加工を基盤技術に、主にオーダーメイド生産している。



ひたすら独創的であれ、ひたすら高品質であれ ひたすら未来志向であれ

株式会社加貫ローラ製作所

(株)加貫ローラ製作所は、印刷に不可欠なゴムローラや産業機械の多くに用いられているローラと、その関連する製品を開発し、製造、販売しています。

ローラは、金属あるいは他の

材料を用いたローラ芯にゴムあるいはその他の弾性物質を被覆したものです。ゴムローラは、ゴム特有の性質である摩擦係数が高いこと、変形しても急速に原形に戻ること、化学薬品に対して抵抗性があること、ローラ芯、シャフトを防護すること、引っかかりや衝撃による傷を防ぐこと、機械精度の僅かな変化を補正すること、さらに、誘電体あるいは絶縁体、導体あるいは半導体、非粘着性(シリコンゴム)、特殊表面仕上げ(版ローラ、みぞ切りローラ、ヘリカル加工など)などの特殊な利用が可能であることなど、幅広い用途の実現が可能です。

加貫ローラ製作所は、これらの性質を利用して被覆されるゴム材料の性能、仕上がり精度、品質の安定性、ローラ芯材料と構造、ローラ芯とゴムの接着など、長年にわたって蓄積したもののづくりの基盤技術とノウハウを基に使用目的により適切なゴムローラを開発し、様々な



バリエーションを生み出しています。マーケットの変化とともに、ゴムローラは、印刷機械をはじめ、産業機械、OA機器、住宅資材および生活資材などの関連分野で広がりを見せています。

加貫ローラ製作所は、印刷用ゴムローラをはじめとする多種多様な製品の開発と供給を通して、新聞や書籍、カタログなど印刷物による高度情報化社会を確実に支え、発展に寄与しています。

加貫ローラ製作所が、印刷用ゴムローラの先駆をなしたのが1899年、創業以来一貫して変わることなく独創的な技術と製

品によって、変わるニーズ、高度化する要求に対して、耐摩耗性、耐溶剤性などの特性を備えた最先端ローラや印刷資材など製品の開発と供給を推進しています。

独自開発したゴムローラやオフセット印刷用連続給水用ゴムローラ(水棒)のカバー「ニューモール」は、高い評価を受け国内外で使用されています。近年では液晶ディスプレイ・太陽光発電・リチウム電池等で用いられる各種高機能フィルム製造ラインでも活躍し、先端企業のキーパーツとしての役割を担っています。たとえば、ピッチ系高性能炭素繊維の採用で、より高剛性、軽量化、低慣性のローラ「CFRPローラ」を開発、製品化しました。「CFRPローラ」は、高機能フィルム、光学系フィルム、製紙、繊維、印刷、OA機器などの分野の製造工程のガイドローラ、ラミネートローラ、ダンサーローラ、テンションローラなどに用いられ、高速回転、コンパクト設計、そして高精度加工が可能になっています。

開発したローラとその関連する製品群は、製造工程でいずれもが高い精度と品質を要求されます。多様化するニーズを受け、

マーケットが質的变化を遂げていく中、「品質は生まれるものではなく、自ら創造するもの」という考えから、安定した品質を維持し向上させるためには、原料から完成までの様々な製造工程を有機的に捉え、一貫して実施する総合品質管理システムを構築し、生産活動を実施しています。

多様な顧客ニーズに応えるため、高度な材料改質技術を駆使した耐熱性・耐溶剤性・耐摩耗性に優れた高付加価値ゴムローラの開発や、ゴム弾性体では難度が高いミクロン単位での研磨加工技術にも挑戦している点などが高く評価され、大阪府「大阪ものづくり優良企業賞2011」で「最優良企業賞」を受賞しました。

加貫ローラ製作所は、5社でカッタグループを形成し、複数の力を結集することで生まれる大きな相乗効果と斬新な発想、そして大胆な行動力で事業活動を推進しています。会社のシンボルフラワーである「紫陽花」



の花のようにグループ各社の総合力を駆使し大きな花を咲かせようと海外マーケットとの連携(2001年にGlobal Roller Technologies Groupを設立)や全社情報ネットワークシステムを構築し、国内外を問わずいろいろな企業、人々とのパートナーシップを強化し事業活動の展開を図っています。

「ひたすら敏感であれ、常に変化する顧客ニーズに敏感で柔軟な対応で最良の解決法の提案をし続けます。」

「ひたすらやさしくあれ、人と環境に配慮した製品の設計、開発、生産、販売に取り組み、微力ながら社会全体に貢献していきます。」

所在地…大阪市生野区中川5丁目3-13
代表者…代表取締役 加貫 順三
TEL…06-6751-1121
FAX…06-6754-4400
<http://www.katsura-roller.co.jp>

次号は、富士高周波工業株式会社(大阪府堺市)および株式会社ユタックス(兵庫県西脇市)の予定です。

(校友会連携プロデューサー 田中久仁雄)

6900人の新関大生が誕生

千里山で13学部の入学式挙行

平成24年度学部入学式が、4月1日に千里山中央体育館（新入生）東体育館（父母）を会場に挙行され、約6千900人の新関大生が学生生活の第一歩を踏み出した。

式は、午前10時から法・商・社会・政策創造・人間健康・総合情報の6学部、午後2時から文・経済・外国語・社会安全・システム理工・環境都市・化学生命の7学部の2回に分けて行われた。

式辞で楠見晴重学長は、「この学園には、126年の伝



統と知性、自由闊達な空気が充満しています。この空気を吸って育った校友と呼ばれる卒業生は40万人を超えており、日本国内ばかりでなく、世界で活躍しています。皆さんも

今日から4年間、この学園の空気を吸って大きく育っていくことを期待しています。

震災からの復興ばかりでなく、人口問題、環境・エネルギー問題、食料・水問題ほか地球にはさまざまな問題が山積しています。人・物・情報が国境を超えて自由に行き交う時代には、全てが地球規模で考え、解決していかなければならない課題です。まず語

学力を磨いてください。さまざまな言葉を身につけることによって、文化を異にした人とのコミュニケーションが可能になり、世界をより良く知ることになります。関西大学を足がかりに世界に飛び出していく、そういう気概を持って、日々の学習に励んでください」とお祝いの言葉を贈った。

入学生総代が宣誓、交響楽団とグリークラブが学歌と逍遙歌を紹介して閉式。

その後、新入生たちは「葉物問題に対する関大の取組み」

「大学生の心構え」を聞いた後、それぞれの学部に分かれて、学部教育の特徴について説明を受け、関大生としてのスタートを切った。

大学院も入学式挙行 3課程に798人入学

24年度大学院入学式が、4月2日に千里山中央体育館で挙行され、修士課程・博士課程前期課程に627人、博士課程後期課程に68人、専門職学位課程に103人の計798人が入学した。

楠見学長は式辞で、「学問を修めた者、真理の探求を行う者に対して、人類社会は常に『畏敬の念』を持って賞賛してきました。大学とはまさに学問を修め、真理を探究し、その成果を広く社会に発信していくことを使命とし、社会から畏敬の念を持って見られる存在でなければなりません。皆さんも自らの命をかけて学問への情熱を持ち、高い志を抱き、真理の探究に邁進していくことを期待しています。」

また、人との出会いは新しい本との出会いと同じく、人間を成長させてくれます。日本、世界で多くの人と出会い、自らを成長させ、充実した大学院生活を送られ、数年後に

はこの関西大学から世界に大きく羽ばたくことを期待しています」と激励した。

留学生別科入学式 6カ国地域から33人入学

4月開校した留学生別科の入学式が、4月2日に南千里



国際プラザで挙行され、中国、台湾、ベトナム、タイ、トルコ、アメリカの6カ国・地域から33人の新入生が入学した。

併設学校でも入学式

関西大学第一高等学校、第一中学校の入学式が4月7日に挙行され、423人、251人が入学した。

また、北陽高等学校、北陽中学校の入学式は4月6日に挙行され、319人、128人が入学した。

高槻ミューズキャンパスでは、4月7日に関西大学高等部・中等部・初等部が入学式を挙行し、それぞれ123人、121人、64人の新一年生が誕生した。

6152人の新学士が誕生

平成23年度学部卒業式を挙行

平成23年度学部卒業式が、3月19日に千里山中央体育館で挙行され、6千152人の新学士が誕生、思い出の学舎を後にした。

式は、午前10時から法・経済・政策創造・システム理工・環境都市・化学生命・工学部、午後2時から文・商・社会・総合情報学部の2回に分けて行われ、歌いなじんだ

学歌を斉唱の後、各学部総代に卒業証書・学位記が授与された。

式辞で楠見学長は、「この4年間には多くの出来事がありました。学内では高橋大輔君のパンクパー五輪での銀メダルという嬉しいニュースもありましたが、昨年3月の東日本大震災は、福島第一原発の事故もあわせ、忘れることは



できません。亡くなられた方々に対し謹んでご冥福をお祈りします。

卒業していく皆さんには、大学の文字を葦の葉が包んだ関西大学の校章の意味をかみしめていただきたいと思います。フランスの哲学者・パスカルの言葉を引くまでもなく

関西大学の校章は、宇宙の中での人間の存在の小ささとともに、知性の力強さと大きさを象徴しているのだともいえます。

大きく変わりつつある社会は、皆さんに新しい創造力と知性、行動力を要求しています。地球規模の大災害や環境問題の前に、一人一人の存在は小さなものに見えます。個々の人生や将来に思い悩んだ時も、この校章を思い起こしてください。小さな私たちでも、大きな知性と無限の想像力を持って未来を切り開いていくのだと教えてくれます」と饒の言葉を贈った。

卒業生総代が、家族、教職員や友人に感謝の気持ちと、これからの決意を込めた答辞を述べ、卒業生は、送歌に送られて式場を後にした。

大学院学位記授与式を挙行

23年度大学院卒業式・学位記授与式が、3月21日に挙行された。

修士・専門職の学位記授与式は、午前10時から第2学舎BIGホール100で行われ、法学・文学・経済学・社会学・総合情報学・理工学・外国語教育学・心理学・社会安



全・ガバナンスの11研究科と法務・会計研究科・心理学研究科心理臨床学専攻の計14人の総代に学位記が授与された。修士の学位を授与された修生は769人、専門職の学位記を授与されたのは120人。

博士の学位記授与式は、午後に校友・父母会館3階の理事会議室で行われ、博士論文が認定された寺内俊太郎校友会長ら51人に博士の学位記が授与された。

バンコクオフィスを開設 3カ所目の海外拠点として

関西大学では、4月25日に楠見学長ら関係者が出席して、タイ・バンコクで、海外協定大学の一つであるチュラロンコン大学内に設置したバンコクオフィスの開所式を挙行した。



バンコクオフィスは、海外協定大学であるベルギーのルーヴェン大学内に設置した「日本・EU研究センター」と、中国の復旦大学内に設置した「上海オフィス」に次ぐ3カ所目の海外拠点となる。

同オフィスは、タイ・バンコクにおける関西大学の拠点として、留学生別科をはじめとする外国人留学生の募集活動、タイの協定大学などとの学術交流、大学の情報発信などを行うとともに、タイ在住の校友との交流等の促進を図る。

中部部が交換留学協定 台北市の中学校と締結

このたび、関西大学中部部は、台湾の台北市にある「国立台湾師範大学附属高級中学國中部」と、生徒の交換留学



たこ焼割烹

たこ昌

Takomasa

大阪出るとき
連れてって〜♪

たこ昌の
たこ焼 明石焼



総合情報学部で地鎮祭 「情報演習棟」を建設

来年1月の完成を目指して総合情報学部の「情報演習棟（仮称）」が建設されることになり、同部のある高槻キャンパスで4月17日、上原理事長、楠見学長や総合情報学部関係者らが出席して地鎮祭が

に関する協定を締結した。国立台湾師範大学附属高級中学國中部は、関西大学海外協定校の国立台湾師範大学の附属校として1937年に設立された台湾国内トップレベルの中学校で、台湾政府の実験協力校として英語、数学、自然科学、芸術等で様々な実験活動に積極的に取り組んでいる。国際交流にも積極的で生徒の日本に対する関心も非常に高く、今年7月から本格的に交換留学を実施する。



南部靖之理事が 古硯と古墨を寄贈

このほど、法人理事でパソナグループ代表取締役・グループ代表の南部靖之氏（昭51学工）が、京都にある古利の塔頭に伝わった古硯と古墨など17点を大学に寄贈した。古硯は、古端溪・太史硯や龍水硯などいずれも清朝期の典型的な端溪石で、意匠を凝らした造形がくみとれるもの。また、古墨や筆筒、筆洗、墨床、水滴も清朝期の貴重なもの

行われた。新たに建設される情報演習棟は、鉄筋コンクリート造地上3階建てで、演習室57室、個人研究室3室、多目的室1室のほか、キャリアセンター、保健室、学生の作品・研究成果等の展示スペースなどが設けられる予定。

石川正司教授、冬木正彦教授が 24年度科学技術賞を同時受賞

の。関西大学博物館では、これを受けて平成24年度企画展として「南部靖之氏寄贈 古硯と古墨」を、「東洋のやきもの」日本・朝鮮・中国」と一



石川正司教授



冬木正彦教授

このたび、石川正司化学生命工学部教授が平成24年度文部科学大臣表彰科学技術賞（研究部門）を受賞し、冬木正彦環境都市工学部教授が同賞（理解増進部門）を受賞した。文部科学省では、わが国の科学技術水準の向上に寄与することを目的とする科学技術分野の文部科学大臣表彰を定めている。科学技術賞は、文部科学大臣が顕著な功績をあげた者に対し表彰をするもので、今回の科学技術賞受賞者119人のうち、私立大学関係者は11人だった。

石川正司教授は、「材料界面の積極的制御による蓄電デバイス高性能化の研究」が業績として評価された。この研究成果により、世界で初めて純粋なイオン液体を用いたリチウムイオン電池を完全動作させることに成功。今後、電気エネルギーを高効率に利用する社会の実現に寄与することが期待されている。

また、冬木正彦教授は、福井希一大阪大学大学院工学研究科教授と共同で行った「国際競争力に資する専門英語教育システムの開発及び普及啓発」が業績として評価された。この研究成果により、国際競争力が求められる英語教育と学習の有機的なサイクルを教育現場などで広く普及することが期待されている。

大学では、今回の受賞を記念し、6月に記念講演会の開催を予定している。

緒に開催して、初公開している。この企画展は、6月30日（土）まで開催されており、入館料は無料（日曜・祝日は休館）。

ネット契約で保険料を節約！まずはお見積から。

自動車保険 **そんぽ24**

<http://www.union-sv.com/car>

海外旅行保険 **OFF**
損保ジャパン

<http://www.union-sv.com/travel>

関西大学生協グループ

保険代理店事業部・事務機器事業部

総合保険代理店

Risk Consultant & Financial Planner
株式会社 ユニオンサービス

info@union-sv.com <http://www.union-sv.com>

本社・豊中営業所 豊中市新千里北町2-20-8/吹田営業所 吹田市佐井寺4-43-8/関大支店 吹田市千里山東3-10-1 関大生協内 TEL0120-50-5421

文科省の私大支援事業に 1ユニットが採択される

大学の経営戦略や研究戦略に基づき、各大学が特色をいかした研究を実施するため、国がその研究基盤の形成を支援する文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に、関西大学から「研究拠点形成する研究」部門に申請した1件が採択された。

研究組織名は「希薄水環境技術開発ユニット」で、研究代表者は、先端科学技術推進機構の三宅孝典環境都市工学部教授。研究プロジェクト名は「希薄水溶液中の有価物・有害物質の文理を通じた水環境技術開発拠点の形成」。研究期間は平成24年度～28年度の5年間。

14人の先生に 名誉教授の称号を授与

関西大学では、名誉教授規定に基づき4月1日付で14人の先生に「関西大学名誉教授」の称号を授与し、3月22日に100周年記念会館で授与式を行った。(敬称略)

▼文学部 青山隆教授、川神傳弘教授、坂本武教授、高橋隆博教授、武市修教授、野浪嗣生教授、浜本隆志教授、

溝畑寛治教授、八亀徳也教授
▼経済学部 若森章孝教授
人間健康学部 竹内洋教授
システム理工学部 隈元昭教授
▼化学生命工学部 杉本隆史教授
大学院会計研究科 宮本勝浩教授

欠員補充の新理事に 狭間・岡田の2氏選任

2理事の退職に伴う理事の欠員補充に関して、学校法人関西大学理事選任規則に基づき、3月15日開催の理事選考委員会にて、新理事に狭間香代子人間健康学部長と岡田弘行大学本部長が選任された。

任期は4月1日から、現理事の任期である9月30日まで(但し、役職在任中)。

関大人事

(4月1日付 敬称略)

【役職者】

(人間健康学部) ▼学部長 狭間香代子教授 ▼副学部長 岡田忠克教授 (学生センター) ▼副所長 西村枝美法学部教授 (博物館) ▼館長 藪田貫文学部教授 (ソシオネットワーク戦略研究機構) ▼副機構長 松下敬一郎経済学部教授 (東京センター) ▼センター長 竹内洋名誉教授 (非常勤)

【昇任】

(法学部) ▼教授 佐立治人、

中野徹也、西村枝美 (文学部) ▼教授 森貴史、若林雅哉 (経済学部) ▼教授 佐藤雅代、清水崇、鈴木智也 (商学部) ▼教授 飴野仁子、太田浩司 (社会学部) ▼教授 橋本理、山口誠 ▼准教授 酒井千絵、福島宏器 (政策創造学部) ▼准教授 権南希 (外国語学部) ▼教授 奥村佳代子、鼓 宗 (人間健康学部) ▼准教授 灘英世 (総合情報学部) ▼教授 谷本奈穂 ▼准教授 井浦崇 (社会安全学部) ▼教授 高野一彦、中村隆宏 (システム理工学部) ▼教授 齋藤賢一 ▼准教授 和田友孝 (化学生命工学部) ▼教授 青田浩幸 (環境都市工学部) ▼准教授 田中俊輔 (大学院会計研究科) ▼教授 坂口順也

【新任】(カッコ内は専門)

(法学部) ▼准教授 荒木修 (行政法学)、池田慎太郎 (戦後日本政治外交史) (文学部) ▼教授 安藤輝次 (質的評価) ポートフォリオとルーブリック、学校ケースメソッド)、関 肇 (日本近現代文学) ▼准教授 篠原啓方 (朝鮮古代・中世史)、高橋美帆 (英米文学) 19世紀以降の詩文学研究、若槻健 (市民性教育、人権総合学習) (経済学部) ▼准教授 神江沙蘭 (国際政治経済、EU経済)、佐藤方宣 (経済思想史) (商学部)

▼教授 小井川広志 (発展途上国の企業家精神に関する研究)、藤岡里圭 (商業論) ▼准教授 辻美枝 (租税法、国際租税法) ▼助教 高井啓二 (消費者行動論、データ科学)、宮崎慧 (マーケティング・サイエンス) (社会学部) ▼教授 北村英哉 (対人心理学、社会心理学)、三浦文夫 (メティア、コンテンツプラットフォーム) ▼准教授 保田時男 (計量社会学) ▼助教 杉本舞 (科学史・技術史) (政策創造学部) ▼准教授 初見健太郎 (ゲーム理論) (外国語学部) ▼教授 守崎誠一 (異文化間コミュニケーション学) ▼准教授 山西博之 (英語教育学) (人間健康学部) ▼教授 河端隆志 (運動・環境生理

学)、山縣文治 (子ども家庭福祉) (総合情報学部) ▼准教授 植原亮 (哲学・科学倫理学)、大堀秀一 (環境経済学、産業組織論)、田頭茂明 (モバイルコンピューティング)、研谷紀夫 (文化資源情報学) (システム理工学部) ▼教授 長井英生 (確立論)、藤岡敦 (微分幾何学) ▼准教授 小金沢新治 (メカトロニクス、アクチュエータと制御) ▼助教 廣岡大祐 (アクチュエータ工学) (化学生命工学部) ▼准教授 工藤宏人 (高分子合成化学) ▼助教 河村曉文 (高分子化学・バイオマテリアル) (法科大学院) (法務研究科) ▼教授 村上幸隆 (国際取引法・中国法)、松本哲泓 (民事訴訟法・民法)

世界大会優勝者などに大島賞 校友会は会長から副賞を授与

23年度大島賞授与式と体育会覇業披露式が、3月15日に補見学長、上原理事長、寺内校友会長、小坂体育OB会長ら役員と体育会各部選手が出席して、千里山中央体育館で行われた。

国際大会で3位以内入賞、全国大会で優勝した個人・団体を表彰する「大島賞」は、21年度から顕著な成績をあげた学生・団体を独自に表彰し

てきた校友会も加わり、受賞者に副賞を授与することによって充実が図られている。

授与式では、フィギュアスケートグランプリシリーズ日本大会優勝の高橋大輔選手、同大会大会準優勝の織田信成選手、織田幹雄記念国際陸上競技大会女子百mハードル準優勝の伊藤愛里選手など国際大会で活躍した11人、第61回全日本学生賞典障害飛越競技大

会優勝の馬術部など6団体、第58回全日本学生ライフル射撃選手権大会10m立射60発競技優勝の田邊伊織選手など全国大会で優勝の14人に、楠見学長から表彰状とメダルが、寺内校友会長から副賞がそれぞれ手渡された。

続いて行われた覇業披露式では、国際大会8位以内入賞、全国大会3位以内入賞、西日本・関西大会優勝の個人41人と10クラブに表彰状が授与された。

高橋大輔、世界選手権で銀メダル 国別対抗戦では最高の演技を披露

3月26日～4月1日にフランスのニースで開催された世界フィギュアスケート選手権大会で、体育会アイススケート部の高橋大輔(M文2)が、男子シングルで銀メダルを獲得した。

また、4月19～22日に東京・国立代々木競技場第一体育館で行われた第2回世界フィギュアスケート選手権大会国別対抗戦(団体競技)では主将を務め、SPでは世界歴代最高得点となる94・00の演技を披露。フリーでも自己ベストを更新する182・72を出し、合計276・72で世界歴代2位記録をマークし、チー



ムの金メダル獲得に大きく貢献した。

4月24日、世界選手権の戦績報告に大学を訪れた高橋は、上原理事長に「励ましの手紙



をいただき、ありがとうございました」と、銀メダルを理事長の首にかけ、お礼の挨拶。理事長は「ソチ五輪までと決めた以上は、関大魂で頑張れ」と激励した。また、黒田副学長は「関大の名を日本に世界に広めてくれ、ありがとう」との楠見学長のお礼の言葉を伝えた。

文化会27部が成果発表 文化フェスティバルで

文化会27団体による春の祭典「文化フェスティバル2012」が、4月16日から28日まで、悠久の庭やKUシンフォニーホール、凜風館1階学生ラウンジなどを中心に開催された。

文化会各部が日頃の活動成果を発表する催しで、昭和60年から続けられており今年で



第27回目

初日の昼休みに悠久の庭で行われたオープニングセレモニーでは、催しの成功を祈って恒例の風船飛ばしが行われ、色とりどりの風船が上空に放たれた。

その後、「明日にきらめけ文化会27」あの太陽に向かって走れ！ここから始まる僕らのオレンジデイズ」をテーマに、各クラブの発表に加え、統一企画として、音楽系クラブによる「合同演奏会」や芸術系クラブによる「合同展示」などが開催され、多くの学生が楽しんだ。

関関同立の体育会員が 復興支援の募金活動

関西大学、関西学院大学、同志社大学、立命館大学の体育会に所属する学生が、3月



10日と11日の両日、東日本大震災発生から1年が経つのに伴い、復興支援の募金活動を行った。

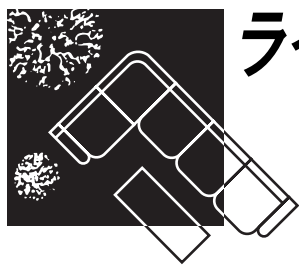
関大千里山キャンパスや江坂駅周辺など、京阪神の計6カ所で行われたこの活動で、約61万円が集まり、集まった募金は日本赤十字社を通じて被災地へと届けられた。

応援団吹奏楽部が金賞！ 関西アンサンブルコンで

2月11日に奈良県文化会館で行われた第38回関西アンサンブルコンテストで、応援団

ライフデザインの 時代へ

家具卸
株式会社 大谷賢三商店



〒579-8063 東大阪市横小路町5丁目5番5号 Tel. (0729) 82-3311 (代) Fax. (0729) 84-4350



吹奏楽部トランペットパート5人、新居由莉(生3)・木元大耀(電2)・白石真衣子(社2)・山田真実(化2)・二神廣大(政1)が、金賞を受賞した。曲目は、Ronald Lo Presto作曲の5本のトランペットの為の組曲 第1楽章、第3楽章。

この大会に出場するには、まず大阪府代表に選出されることが必要であったため、昨年12月14日に行った定期演奏会後のオフも返上して練習に励み、12月25日の第38回大阪府アンサンブルコンテストに出場した。結果は、金賞を受賞、さらに大阪府代表に選出された。

新年を迎えても、秋学期の試験勉強が忙しい中、5人が空き時間を合わせ、寸暇を惜しみ練習に取り組む、パート

講師のレッスンを重ねて本番に臨んだ結果が実を結んだ瞬間であった。

同部としても、関西アンサンブルコンテストでの金賞は13年ぶりの喜ばしいことであり、この勢いのまま、今年のも全日本吹奏楽コンクール出場へ向けて、更なる飛躍を期待したい。

応援団が7月3日(火)に創設90周年記念祭を開催

関西大学応援団は、本年度に創設90周年を迎えた。これを記念して7月3日(火)に吹田市文化会館「メイシアター」大ホールで「関西大学応援団創設90周年記念祭」を開催する。開場は午後5時、開演は午後6時。入場は無料。

花岡達也第90代団長は、



「当日は日頃の演舞演奏、並びに応援活動でお馴染みの『応援歌』や『関大マグマ』はもちろん、日頃の応援風景を見事に再現した『チアリングオンステージ』や『吹奏楽部ステージ』『バトン・チアリーダー部ステージ』など、これまでに応援団の活動を見たことがある方にもちろん、どなたでも楽しんでいただける内容となっています。ご家族、ご友人とお誘いあわせの上、是非ご来場ください」と、先輩の来場を心待ちしている。

「タイよさこい」に出演スラム街の孤児院慰問も

関西大学学生チーム「漢舞」は、3月の2～6日に「JTBタイよさこい」に参加するためにタイのバンコクに行っていました。

私たち漢舞は、よさこい祭



りに参加してよさこいを踊るサークルで、今まで全国多くのお祭りに参加してきましたが、海外はこれが初めてでした。

今回は、タイのよさこい祭りに参加することが主な目的でしたが、他にもタイの文化に触れたり、スラム街の孤児院の訪問もしました。そこで私たちは多くの貴重な経験ができました。

祭りでは、まず地元チームの踊りを見学しました。日本の文化であるよさこいをタイ風にアレンジした演舞であり、タイと日本のつながりが見られました。そして、祭りの最後には日本人とタイ人が一緒に踊り、互いに時間を共有することで、国境を越えた交流ができました。国民性や文化は違えど、よさこいを通じてつながりができることが、よさこいの大きな魅力の一つだと感じました。

また、孤児院訪問では、ボランティア演舞を行ったり、子どもたちと一緒に時間を過ごしました。子

どもたちは、最初は慣れないことに戸惑っていましたが、段々と心を開いてくれ、楽しんでくれました。私たちは、日本でも小学校等を訪問する機会がありますが、タイの子どもたちも日本の子どもたちと変わらない無邪気な姿を見せてくれました。こうした姿を見せてくれることは私たち自身何よりの喜びです。この喜びを感じさせてくれたタイの子どもたちに、何か恩返ししたいと考えました。

そこで、タイの孤児院を支援している日本の財団の方に話を聞き、実際に支援できる方法を教えて頂きました。これからその活動に協力し、タイへの感謝を形にして届けたいと思います。

タイに行ったことは私たち個人としても漢舞としても貴重な経験になりました。それぞれで思うことも多くあったと思います。また漢舞としても海外進出という大きな一歩を踏み出せました。それを一つの大学生活の思い出とするのではなく、ここできたつながりを大切に、これからの生活をより意義のあるものにしていくために、今後も進んでいきたいと思っています。

(漢舞代表 上本将広)

学校法人関西大学の募金事業について 「校友の皆様の温かいご支援をお願いいたします」

本法人は、教育研究諸条件の整備充実並びに奨学事業をはじめとする各基金の充実を目的として募金事業を実施し、従来から学内外の関係各位にご支援、ご協力を仰いでまいりました。

平成24年度も恒常的募金の二本柱である「学の実化促進募金（教育研究促進募金）」と「『考動』する関大人育成募金（給付奨学金等募金）」を中心に、本学の教育研究をはじめとする諸活動を充実させるための募金活動を行ってまいります。

1 「学の実化促進募金（教育研究促進募金）」

「学の実化」の理念に基づき、母校の教育研究環境のさらなる整備充実に向けてご支援をお願いするものであります。

関西大学は、明治19年に関西法律学校として開校以来、126年の長きにわたり、我が国の教育研究の発展に寄与してまいりました。大正11年、関西大学は旧制大学へ昇格し、総理事兼学長となった山岡順太郎は新しい大学の指導理念として「学の実化」を提唱しました。「学理と実際との調和」「国際的精神の涵養」「外国語学習の必要」「体育の奨励」というこの理念は、本学の学是としてゆるぎなく継承されてきました。

この理念を再認識しながら、本質の理解と十分な基礎力の蓄積、問題解決につながる応用力と柔軟な思考力の醸成など、教育力を最大限に発揮して、情報化・国際化などに対応できる社会に有為な人材の育成に力を注いでまいります。

2 「『考動』する関大人育成募金（給付奨学金等募金）」

法人・団体・個人に対し、本学が掲げる長期ビジョン「KU Vision 2008-2017」に基づいた人材育成のための奨学事業等へご支援をお願いするものであります。

めざすべき方向性として、「社会を見つめ、変化に挑む。『考動』する関大人が世界を拓く。」を掲げ、教育力を最大限に発揮して、生徒や学生が「考動力」すなわち「自らの頭で自主的によく考え、自律的かつ積極的に行動する力」を身につけられるよう、皆様のご芳志をもとに給付奨学金事業等を充実させ、社会や世界をリードできる「考動」する関大人を育成してまいります。

校友の皆様にも本募金の趣旨をご理解いただき、温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。募金についてのお問合せは下記をお願いいたします。

学校法人関西大学 財務局資金課 TEL：06-6368-1137

平成24年度から新たに募集する寄付金

- 関西大学第一高等学校・第一中学校創立100周年記念事業募金
- 関西大学北陽高等学校・北陽中学校体育館建設事業募金

「学の実化促進募金」の一環として、平成24年度から上記募金の募集をいたします。詳細につきましては、資金課までお問い合わせください。

本学の被災学生に対する「関西大学災害特別義援金」へのご協力お礼

平成23年3月25日から本学の被災学生に対する支援として開始いたしました「関西大学災害特別義援金」の募集期間が、平成24年3月31日をもって終了いたしました。

募金状況

平成23年3月25日～平成24年3月31日までの募金金額	35,702,757円
平成23年度修学支援助成金支出額	△17,700,000円
募金残金（平成24年度修学支援助成金）	18,002,757円

皆様からお寄せいただきましたご厚志は総額35,702,757円となり、本学の被災学生62人に対し、平成23年度春学期・秋学期の修学支援助成金として、17,700,000円を給付いたしました。

皆様のおかげをもちまして、被災学生も苦境にも負けず、安心して勉学を継続することができましたこと、心から深くお礼申し上げます。

ご厚志残金の18,002,757円につきましては、平成24年度の修学支援助成金として使用させていただきます。

東日本大震災で被災された方々に、心からお悔やみとお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

寄付金の免税措置が拡充されました

平成23年度の税制改正により新たに個人が行った寄付金に対する所得税の「税額控除制度」が導入されました。これにより、個人からご寄付いただいた分について、従来の「所得控除方式」と「税額控除方式」の2方式から選択して、どちらか有利な方法で確定申告をしていただくことができるようになりました。

給与収入額や所得控除額などにより有利な控除方式は異なりますが、通常は「税額控除方式」を選択していただくと還付税額が多くなり、寄付者にとって有利になるものです。

なお、詳細につきましては、確定申告時に所轄税務署にお問合せいただき、有利な控除方式を選択していただくことになります。

A【従来からある所得控除方式の寄付金控除額の計算方法】

当該年中に支出した寄付金額※1 － 2,000円＝ 寄付金控除額

寄付金控除額 × 税率※2 ＝ 還付税額

※1 その年の総所得金額等の40%を限度とする。 ※2 課税所得金額により税率は変わる。

B【新しく導入された税額控除方式の寄付金特別控除額の計算方法】

(当該年中に支出した寄付金※1 － 2,000円) × 40%＝ 寄付金特別控除額(還付税額)※2

※1 その年の総所得金額の40%を限度とする。 ※2 所得税の25%を限度とする（100円未満切捨て）。

〔所得控除方式と税額控除方式の簡易計算例〕

個人が本学に対して年額10万円の寄付をした場合、上記計算方法にあてはめますと

A【所得控除方式】 10万円 － 2,000円 ＝ 9万8,000円が寄付金控除額
課税される所得金額が330万円超～695万円以下の方の場合、税率は20%となり
9万8,000円 × 20% ＝ 1万9,600円が還付税額

B【税額控除方式】 (10万円 － 2,000円) × 40% ＝ 3万9,200円が還付税額

なお、個人については、上記所得税の所得控除及び税額控除以外に住民税の税額控除（地方公共団体の条例により指定された場合に限る）があります。

(当該年中に支出した寄付金※1 － 2,000円) × 税額控除率※2 ＝ 寄付金控除

※1 その年の総所得金額の30%を限度とする。

※2 都道府県が指定した寄付金…4%、市区町村が指定した寄付金…6%

都道府県と市区町村の双方が指定した寄付金…10%

また、法人からのご寄付に対する損金算入手続きには、①特定公益増進法人に対する寄付金（寄付金の一定限度額まで損金算入可能）、②受配者指定寄付金（全額損金算入可能）による方法があり、どちらかを選択していただく必要があります。詳しくは資金課までお問い合わせください。

まよと

校友録

Kandai Kiratto Part 34

やります！』って返事を
していました」と出会いの
頃を振り返ります。

その後、月に一、二度
のペースで一对一の指導
を五年間受けました。

五十嵐さんの先生は毎回、
次までにマスターすべき

幼 少期からクラシックバレエを習い、常に音楽が身
近にあったという五十嵐さん。しかし、自分が
歌ったり、演奏することは絶対にできないと断念してい
たそうです。特に歌うことは苦手だったとか。ところが、
会社員として十年勤めた後に、本格的にジャズボーカ
リストの道に進みます。五十嵐さんをジャズの世界へ導
いた人たちとの出会い、そこで学んだ人生観などについ
て語っていただきました。

今あるのは、最初の先生との出会い その圧倒的な存在感到衝撃

五 十嵐さんがジャズボーカリストの扉を叩いたのは、
会社に勤め始めて六年目のことでした。仕事で
忙しい毎日、「息抜きに何かやってみたい」という気軽な気持ちで習い事の
情報誌を開き、見つけたのが最初の
先生だったそうです。「それまでは、
コピーライター養成講座や英会話な
ど、仕事に活かせることを習ってい
たんですが、純粹に息抜きとして何
かしたいと思って。ジャズのボーカル
は全くの初チャレンジで先生を訪ね
てきました。そしたら、体験レッ
スンで見せてくれた先生のお手本が
凄かったんです。まさに第一線で活
躍してるっていうプロとしてのオーラ
が出ていて。その本物感到圧倒され
て衝撃を受けました。体験レッス
ンが終わるか、終わらないうちに『私、

課題を出します。例えば、それまでにひたすら英語の
発音を覚えるなど、決して華やかで楽しいばかりでは
なかったとか。「先生のレッスンは、その場で歌って楽し
むという趣味の範囲を超えていたと思います。でも、
私はやるなら本物を目指したいという気持ちもあり
ましたし、先生の人間性にもとても惹かれていたので、
続けることができました」と思います」。

しかし、そもそも歌うことが苦手だったという五十
嵐さんが、なぜ、ジャズボーカリストを選んだのでしょ
うか。「ジャズは大好きだったので、ライブにはよく行っ
ていました。でも、自分で演奏したいって考えた時、ピ
アノにしてもギターにしても楽器をマスターするには、
あまりにも年月がかかってしまうと感たんです。そこで、
まずは一度ボーカルをやってみよう、と。消去法的に



▲ライブ中の五十嵐さん

選んだこともあつてか、当時は思うように上達しなく
て伸び悩んだ時期もあり、こんなに続くとは思いませ
んでした。もちろん、今は歌うことは大好きですし、
お客様の前で歌うことが楽しいと思えるようにもなり
ました。とは言っても、まだまだ勉強中なので、これ
からもっと実績を積んでいきたいと思っています」と、始
めた頃の本音と今後の意気込みを語ってくれました。

ライブを通して変化したのは エンターテイナーとしての意識

ボ ーカルを続ける中で、どの時期にどういう先生
に教わるかがとても大切だったそうです。五十
嵐さんはこれまでとは違う角度からも学びたいと考え、
次の先生につくようになりました。「この先生には、
歌を通してにじみ出てくる『その人らしさ』や『味わい
深さ』の大切さを気づかせてもらえました。往年の名
シンガーも決して皆が、優れた歌唱力や美声ではな
かったりします。でも、そのシンガーの圧倒的な世界に
魅了されます。これを追求するのは永遠のテーマにな
りそうですが、まず、その第一歩として、自分の感
情を歌声に直結させる事が必要になります。『今まで
習った英語の発音をもっと体に響かせ、発声に奥行き
を持たせ、リズムに乗せる』そして、『考えるよりもっ
と感じる』ようにと教えていただいています。また楽器
奏者が奏でたメロディやリズムに対して、お互いにどう
反応しあえるかという即興の面白さもありますので、
やればやるほど、初心者の方とは違った課題が出てく
るんです」と語ります。音楽の理論的な知識やリズム
については現在、ベーシストである先生について勉強中だ
とか。「歌だけを学ぶと、どうしても伴奏とボーカル
というイメージを持ってしまうんですね。でも、ウッド
ベースの奏者に教わっているお陰で、より楽器的な視点
から歌うこともイメージできるようになりました。で

すから、学びとしての流れは良かったなあと思っています」。

この頃からライブ活動など、実践的な取り組みも増えていきました。五十嵐さんはレッスンを受けていた頃に比べ、意識がガラリと変わったといいます。「実際にステージに立つと、お客様とのコミュニケーションがとて大切だということを痛感しました。歌は歌えて当たり前。その上で、心地よく一緒に楽しんでもいただく事が第一なんだと。ライブは、聴いてくださる人を初めて目の前で意識する機会でしたし、それまでやってきたことだけでは全然足りなかったことが見えてきました。最初の頃は自信もなくて『こんな歌で恐縮です…』という感じでした。でも逆に、そういう態度はお客様に失礼だと分かったんです」。プロと素人の歴然とした違いは、その意識にあったことに気付きます。

ライブ経験を積むうちに、楽器奏者やお客様と「一緒にステージを作り上げる感覚を徐々につかめてきたという五十嵐さん。エンターティナーとして何が大切なことなのかを意識するようになりました。そのためには、自分自身のコンディションをコントロールすることが重要だとか。具体的にはどのような心掛けをしているのでしょうか。」「緊張する状況の中でも、リラックスした状態にもつていけるように意識しています。多くの方の視線を受けることに慣れていなかったのも、お客様に圧倒されてしまわないよう、以前よりいろんな場所に向かい、積極的に様々な方に会ってお話するようにもなりました。その中で、自分の心もできるだけでもオープンでいられたらいいなと思っています。また、心の健康には気をつけるようにしていて、森林浴や山歩きな

ど自然にふれあうことでリラックスの感覚を忘れないようにしています」。

ジャズと社会学の共通点は 普遍的な人間らしさ

ラ イブ活動を始めて五年目。最初の頃はお客様にのまれている感じが、ミスをしないうことで一杯といった状態でしたが、今では楽器奏者に反応しながら歌うことの面白さを実感しているとか。「もちろん、まだまだ未熟な部分もたくさんあると思いますが、ようやく、演奏の方たちとやりとりができるようになったと思います。私の初ライブの頃からずっとサポートしてくださっているピアニストの方が、実は偶然にも関大の先輩だったんです。素晴らしい演奏をされる方なのですが、最初の頃はその演奏に上手く乗れず、ちぐはぐな感じで迷惑をおかけしていたと思います。でも、近頃では『次はピアノがこうくるかな?』なんて予測しながら楽しめるようになりました。他にも、共演のベーシストの方のお嬢さんが関大の社会学部で、何と五十嵐さんと同じ岩見ゼミだとか。『この活動をしていて、関大出身の方とよくお会いしたりします。初めて会う方でも関大というだけで、身内のような気持ちになり、距離が狭まる感じがいいですね』。

五十嵐さんは社会学部時代、魅力的な講義が多かった中、特に岩見先生の授業に惹かれてゼミに入り、『恋愛の社会学』というテーマで卒業論文を書いたそ

うです。「ジャズのスタンダードナンバーは人間の様々な感情を歌ったものが多く、長い間、世界各国で繰り返し歌われてきました。それだけに時代や国など関係なく普遍的な良さがあると思っています。私はその人間らしさを感じる瞬間が心地良くて、『自分も今を生きているんだなあ』と実感します。そんな時、『人間って何?』『社会って何?』『生きるって?』と考えながら卒論に取り組んでいた頃の感覚を思い出すんです。今は、社会学はジャズにも通じる場所があると感じています。最後にどのようなジャズボーカリストを目指したいかお聞きしました。「将来的には、病院や高齢者の施設などでも活動していきたいと思っています。悲しいことや辛いことがある時でも、『いろいろあるけど、まあ、明日も頑張るか』という気分になれるような歌を歌っていきたいですね。聴いてくださる人と同じ目線で歌って、その歌で生きる醍醐味を感じてもらえるような」。



▲インタビューに応える五十嵐さん

生きることの醍醐味を ジャズにのせて歌いあげたい

五十嵐 あきこさん

プロフィール

五十嵐 あきこ（いがらし あきこ）さん
ジャズボーカリスト。一九九七年 関西大学 社会学部 社会学専攻卒業。同年ICカードシステムの会社へ入社。十年間の会社員生活の後、本格的にジャズボーカルの勉強を決意。現在は阪神間のライブバー、カフェ、レストランでの出演をはじめ、ジャズストリート、イベント、パーティ会場などで活躍中。

2012 スプリングフェスティバル



テントブースは 今年も盛況
淡路支部が 2年連続で参加

総合図書館前からのメインストリートに並ぶテントブースは、今年も盛況。お馴染みの吹田支部、女子秀麗会、一高同窓会、尼崎支部、西淀川支部、コールドテックニカOB会などのテントがズラリと並び、昨年初参加の淡路支部は、今年は大学進学希望の高校3年生6人も同伴し、貸切バスに地元物産や淡路島PR品、さら

野点では例年の 一・五倍を準備
俳句コーナーや さくら寄席も盛況

に淡路市のキャラクターなどを積み込んで参加した。早くから準備を始め、開場の10時にはつきたてのきな粉餅が配られる一高同窓会のテント。まずここに足を運ぶ常連さんもあり、相変わらずの人気で、おいしそうに餅を頬張っていた。前では、留学生や子どもたちが慣れない杵を持ち、餅つきを体験した。

悠久の庭に設けられた野点会場。早くから多くの参加者が訪れ、お点前でもてなす茶道部員は大忙し。例年午前中に茶菓子が無くなってしまいうため、今年は茶菓子とお茶を一・五倍用意したが、それでも開場の3時には全て無くなってしまった。「春の俳句大賞」を募集した隣の「俳句コーナー」には、寺内校友会長や本部役員も顔を見せ、一句二句と投稿。野点を楽しんだ家族連れの人も揃って句作に励んでいた。また、凜風館ロビーで行われた落語大学学生による「サクラ寄席」。室内のため、担当役員が早くからチラシを配って呼び込みを行い、開演時にはほぼ満席になり、熱演する学生の落語を熱心に

聞いていた。

国際化を進める 母校に声援を 現在の関大の知性を 体感ください

12時40分、総合図書館前から応援団旗を先頭に中央グラウンドに向けてパレードが始まった。両側に咲き乱れる桜並木を背景に、寺内俊太郎会長と副会長、さらに応援団、漢舞約100人が行進した。

午後1時、中央グラウンドで、大東恭治総務副部長の司会のもと歓迎セレモニーが始まった。まず寺内会長が主催者挨拶。寺内会長は「桜満開の母校へようこそお越しくださいました。本日の天気は母校を思う校友の皆さんの気持

**絶好の花見日和に全国から7千人参集
 漢舞や応援団の演舞演奏で青春を謳歌**

創立100周年の年に、充実・発展する母校の姿を校友に見てもらおうと始められた校友会の一大会「2012スプリングフェスティバル」は、創立126周年の今年も大学の全面的な協力を得て4月8日の日曜日に千里山キャンパスで開催された。

今年は、第1日曜日の4月1日が入学式だったため第2日曜日の開催となった。また今年は寒さが長引き、桜の開花も遅れたが、入学式の時とは蕾だった桜も、この日は8分咲きとなり、天気も快晴、申し分のないお花見日和となった。

この日母校を訪れた校友とその家族は、東京・神奈川・千葉など関東をはじめ、茨城や群馬さらに愛媛・香川・高知・広島・島根など四国・中国といった遠隔地も含めて約7千人。教室等で総会や懇親会、現役OB交流会などを開催した団体は約70団体。あちこちで「確かめよう青春! 深めよう友情! 高めよう母校愛!」のスローガンを実践する姿が見られ、中央グラウンドでは応援団の演舞・演奏に熱き血潮を湧かたせていた。





ちの表れだと思う。今年母校は、南千里国際プラザに留学生別科を開設し、国際化に向けて第1歩を踏み出した。世界は一つ、地球は一つという流れの中で多くの留学生を迎えることは素晴らしいことだと思う。母校にエールを送

りたい」と述べ、招待した留学生に対しては「日本の歴史・文化を十分に学んで母国に帰っていただきたい。特に関西大学の桜と、スプリングフェスティバルに集う校友の熱い思いを心に刻んで、思い起こしてほしい。世界平和のため皆さんの活躍を祈念しています」と歓迎の言葉を述べた。

上原洋允理事長は、まず、「学内2千本の桜が皆さまを歓迎しています」と述べ、アメリカとの校友好100年に因んで、接ぎ木の技術によってアメリカに桜の苗木を送ることができたエピソードを披露。続いて「教学と一体となって留学生を支援し、海外で活躍する学生を育てていきたい。大学は4年後に創立130周年を迎える。一中・一高は来年100周年を迎える。関西大学は、着実に前進を続けることが要請されている。更

なる発展を皆さんと共に期していきたい。今後ともご支援をお願いする」と挨拶した。楠見晴重学長は「3月には6千300人の学生を社会に送り出し、4月1日には6千915人の新入生を迎えた。入学式の式辞の中で、『深呼吸をして関西大学の126年の伝統と自由、知性を感じてほしい。この空気を吸って育った41万校友は国内ばかりでなく、世界で活躍している。今後4年間、この自由闊達な空気を吸って大きく育っていただきたい』と話しました。ここにおいての皆さんには、長き歴史の香りと今の関西大学の知性を体感していただきたい。

関西大学は、日本の大学からアジアの大学として邁進していく所存です。そのために国際化に向けて種々施策を講じている。皆さんと共に関西大学を発展させていきたいと思っ

た。挨拶の後は、学生ダンスサークル・漢舞と応援団リーダー部・バトンチアリーダー部・吹奏楽部の演舞・演奏を楽しみ、ひととき学生時代にかえり、逍遙歌を声高らかに合唱して青春を謳歌し明日の活力を養った。



貴重な展示を熱心に見学 ロボットに子どもが歓声

大学の協力で総合図書館をはじめ各施設も開放された。博物館では春季企画展「東洋のやきもの―日本・朝鮮・中国」と「南部靖之氏寄贈 古硯と古墨」の2展示を、年史資料展示室では企画展「燦たる理想を目指して―大学昇格90周年記念展―」をそれぞれ開催。参加者は、貴重な資料の展示や大学の歴史を示す資料を熱心に見て回っていた。

新関西大学会館北棟で行わ

大阪マラソンのプレイベントから「商店街をロボットが走る」を中心に、日本で初めて天神橋筋商店街の中に設置した研究拠点での活動を展示。屋外を走るロボットに子どもたちが歓声を上げ、愛嬌のあるロボットに触って楽しんでいた。

なお、この日も受付に置かれた「東日本大震災義援金」募金箱には、参加者から多くの浄財が入れられ、校友会では日本赤十字社を通じて現地に送った。

2012 スプリングフェスティバル

ゆるキャラと 母校へ参上

— 淡路支部

昨年度に引き続き、淡路支部は、淡路島の特産品 淡路島新玉ねぎやとれたてのレタス、いかなごの釘煮、農林水産大臣賞を受賞した和菓子等をテント販売した。

約40人のOBとその家族たちが母校へ参集して、交流を深めたのはもちろんであるが、若々しいゲストたちも同行していた。

淡路支部では、淡路島内の高校3年生を対象に、独自に大学の見学会を同時に実施しており、この日は6人の見学者も同行した。

今年は、古事記1300年記でもあることから、古事記の主人公である「いざなぎ」をもとに誕生した淡路



市のキャラクターも登場し、淡路島のPRをしたところである。
(幹事 鈴木朋美)

支部名物3点完売!

— 尼崎支部

一気に桜が開花した春爛漫の母校で、スプリングフェスティバルは開催された。

尼崎支部はメイン通りにテントを構え、午前9時から支部役員とU-40(年齢40歳以下)の支部校友が準備に入った。今年も出し物は尼崎支部名物「本場中国手作り餃子」・「尼崎銘菓煎餅」・「生ビール」の3点。

午前11時に大角支部長の挨拶で始まり、河本副支部長の乾杯発声でまずは集まった校友35人が花見弁当を食しながら、懐かしい母校で懇親を深めた。この日は絶好の花見日



和で、次々とテントを訪れる校友や行き交う校友も多く、この日準備した出し物もめでたく完売となった。
準備運営に尽力された皆様、大変お疲れ様でした。
(広報 松本勝憲)

寺内会長が 激励の挨拶

— 川西支部

午前11時から第2学舎B306教室で、役員28人により拡大役員会を開催。23年度事業・会計報告並びに24年度事業計画・予算案等について熱心に討議し、今年度は緊急財政で切り抜けることで一致した。

途中、寺内会長がお越しになり、激励のご挨拶を頂いた。水口名誉支部長の発声で乾杯し、和やかに昼食をとった後、キャンパス内で記念撮影をして歓迎セレモニー会場へ。終了後、学生時代を思い出し



ながらキャンパスを散策。学舎の変貌ぶりに感慨も一入だった。

学舎を出て、近くの居酒屋にて恒例の懇親会を開催。大いに飲み、食べ、歓談してより一層の親交を深め、千里山を後にした。(副支部長 仲西忠)

初の交流スペース設置

— 吹田支部

吹田支部は、第2回に自前でテントを張って、参加支部校友に飲み物等を無料配布して以来、連続して参加している、参加団体の中でも最古参団体の一つである。

今年も婦人部・青年部の主催で恒例のガレージセールを行った。毎年参加者に好評の高級海産物や文房具、会員が持ち寄ったものを販売。午後2時には完売となった。

今年は、テント内に初めて交流スペースを設置。機関紙「関大」3月号にチラシを封入して参加を呼びかけたところ、立ち寄りに来た支部会員も多く、和やかな雰囲気だった。

吹田支部では婦人部、青年部、一般会員の方を常に募集中です。ホームページhttp://www2.kandai-koyukai.com/

al/suita/、または関西大学校友会吹田支部の公式フェイスブックページからご連絡ください。
(渡辺善孝)



目を見張る関大パワー

— 枚方支部

毎年参加している枚方支部では、今年も13人にて参加。毎年初参加の会員が「卒業後〇〇年ぶりに千里山キャンパスに来たら、どこの大学かわからないほど変わってしまった」という声を聞きます。

確かに新しい建物やドンドン建築され、古い校舎は大きく改築され、学生時代の校舎の面影が残っていないのは残念ではありますが、常に時代の先駆者として、新しいものを追いかける関大のパワーは目を見張るものがあります。

そんな中でいつも話に花が咲くのは学生時代の話、夕暮れになってもポカポカ陽気は

続き、また来年もみんなが集まる約束をし、各自家路につきました。(幹事長 永盛啓司)



広がる交流の輪・輪 4支部2団体で懇親会 — 平野支部

千里山キャンパス約2千500本の桜が、今年も満面の笑みで私たちを迎えてくれた。本年の平野支部懇親会は、八尾、藤井寺、富田林の各支部、そして二九千里会、河内若手会との合同で行われた。早々と会場に到着した人は、



模擬店をハシゴしたせいかわかり、例年にもまして賑やかな会になることを予感させてくれていた。

自己紹介・近況報告では、最近絶好調とみえる先輩の「ゴルフ教えます」の言葉や、若い女性校友の「100キロウォーク完歩達成しました」の報告などに温かい拍手が送られ、老・壮・青の世代、それに支部や団体の垣根を超えた交流の輪がますます広がっていることを実感させてくれた。

最後に、8月1日PL花火大会に招待下さる富田林支部・野島副支部長の「観光バス100台分までOK」との力強くありがたい言葉に、参加者たちの心は早や真夏へ。私たちの活動は、この夏、更にパワーアップします。(長野隆哉)

盛り沢山の催し楽しむ — 鶴見支部

始まりました今年の楽しいスプリングフェスティバル。鶴見支部には34人のバギーから80歳以上の大先輩の仲間が集合。徳野豊支部長の明るいウエルカムの挨拶。

早速、恒例の紙芝居クイズ「たべられたやまんば」で奇



問・珍問クイズに大笑い。急に出演が決まった梅田嶋田のさんしんとピアノのデュオ。沖縄民謡に続き、童謡ふるさとを全員で。やがてブルーグラスバンドへ。フォギーマウンテン ブレイクダウンやテネシーワルツ等の名曲が次々に。時間がながい、昼食をとりながらのビンゴゲーム。さあ、中央グラウンドへ急げ。

(幹事長 迫 匡)

住吉さんのどら焼販売で 更にチームワーク深まる — 住吉支部

待ちに待ったスプリングフェスティバル。桜吹雪の舞う美しい庭でのおでん宴会を禁じられてから2年目の春。今年は何か楽しく活気溢れる催しをと、小林洋司新支部長の提案で、住吉さんのどら焼を販売することになった。初めての模擬店とあって、



皆、販売することの楽しさと売れ残ったらどうしようという不安とで、ワクワクドキドキしながら準備をした。

しかし、開店したら案ずることなく、テント村の校友、金曜会、葦文会、中央支部、事業部ほか多くの方々の協力で、お昼過ぎには80箱が完売した。来年は100箱に増やそうとか、商品を変えようとか……これをきっかけに住吉支部は四季を問わず大ブレイク間違いなし！ 寺内会長、上原理事長ほかお買い上げ下さった皆さま、ありがとうございます。きっと住吉大社の御利益がありますよ。(友成純子)

桜を愛でながら歓談 — 西成支部

吉村健治支部長以下13人が大学に集まりました。校友会に用意して頂いた教室で生協の弁当とビールをいただき、



桜を愛でながら学生時代の思い出や、今後の支部活動等につき暫しの歓談を楽しんだ。

野点、簡文館(壁画、博物館)とまわり、歓迎セレモニー会場の中央グラウンドへ。校友会長、理事長、学長の挨拶を拝聴し、応援団などによる”演舞・演奏”を観賞し、最後に逍遙歌を合唱して和やかなうちに散会となりました。(花岡 宏)

現役学生には 無償提供 — 西淀川支部

春爛漫、青く澄んだ空と満開の桜の下、開催されたスプリングフェスティバルに、われわれ西淀川支部も参加しました。

六壁、長谷部、両副支部長と西山幹事長を中心に早朝からテント設営。暖かい日差しのもと、来場される校友の方々のためにおでん、フラン

クフルトと飲み物を格安で提供させて頂いた。



今回は、井上幹事が当支部プロデュースの居酒屋「武者」を出店する形で行われ、更に美味しいと評判でした。

また、お子様連れの校友や現役の学生たちには無償で提供させて頂くなど、たくさん笑顔を見ることができました。

午前中には用意した食材全てがなくなり、その後は支部交流会、本日の成功を祝って乾杯、賄いに用意したうどん、ホルモン、焼きそば等で大いに盛り上がり、更に支部の結束を固いものになりました。

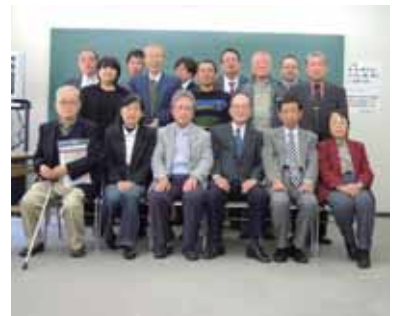
(副幹事長 河野賢治)

マジックショーを堪能

— 大阪中央支部

大阪中央支部では、例年通り午前11時半から第2学舎教室にて17人が参加し、お弁当

を食べながら談笑。



初参加の2人を含め改めて自己紹介を行った。皆の個性豊かな自己紹介に終始笑顔が絶えなかった。その後毎年恒例の齊城先輩による、すぐにタネを明かしてしまうマジックショー。皿回しを幕開けに、少しの質問で誕生日を当ててしまうマジック、何人も入っていない箱からお菓子が飛び出すマジック等を、冗談を交えながら披露。また、出てきたお菓子は、皆さんに配るという大サービスマスクを下さった。その後記念撮影を行った後、歓迎セレモニーの行われる中央グラウンドに移動し、楽しい一日を過ごした。

(平22卒 中清孝至朗)

6月に

シンポジウム開催

— 関大マスコミ人会

関大マスコミ人会は、満天

俳句コーナーから 味のある俳句 117!

スプリングフェスティバルといえば、もうお馴染みの俳句コーナー。お天気にも恵まれ、今年も賑わいました。投句の数はなんと117句。「イイナ、ですね」

では今回も、独断をお許し願って、面白い、あるいは味のある俳句を「できるだけたくさん!」ご紹介いたします。(俳句大賞、入賞句は掲載せず)

寒さが長引いた今年、桜の開花も遅れたことから、七分咲き、八分咲きの花を詠んだ句がたくさんありました。一部をご紹介します。



ここ最近俳句コーナーが集合場所になっている国文46卒の皆さん

人間も 桜の花も 七分咲き

北嶋弘一 (44院修工)

夢多く 母校の花は 八分咲き

市場康雄 (44学芸)

八分咲き 関大桜 我迎う

野村富雄 (28学経)

ついで多かったのが妻や子、家族を詠んだ愛にあふれた作品です。

妻連れて 母校の春の フェスティバル

頃安貞良 (41学経)

初恋の 桜並木を 妻と行く

鎌刈宏司 (平3院博経)

サクラの日 孫と関大 桜ほっぺ

北本喜一 (29学商)

関大のカラーがにじみ出た句もいろいろありました。こちらは、団員の勇姿が想像され、「関大魂」という言葉が浮かんで来るような句です。

桜風の 団旗揺らせど 動ぜずに

清水孝晏 (39学工)

そして、最後に紹介するトビックスは、「師弟の再会!」。この春、関大一高からみこと京都大学に入学した北村拓哉君と西山孝一教諭は、キャンパスを歩いていてバツタリ出会ったそうぞうで、「直接の教え子ではないのですが、一高では有名な生徒でしたから」と西山先生。北村君は茶道・華道部に所属、日本の伝統文化を愛する礼儀正しい生徒だったそうぞうです。北村君、来年も桜の関大へ帰っておいで。



力作がズラリ

教え子の 絆を見たり 春うらら 風船の ように飛びゆけ 我が大志

西山孝一 (一高教諭)

北村拓哉 (平24一高)

(広報部 西野京子)

なお、今年の「春の俳句大賞」入賞作品は、審査の結果、次のとおり決定した。

〈大賞〉

学舎の 飛鳥美人も 桜愛で

平田 正 (平3学商 生駒市)

〈優秀賞〉

今、昔 変わらぬ桜 千里の日溜

水谷一夫 (34学経 交野市)

〈佳作〉

若人の 夢満ちにける 花の下

頃安貞良 (41学経 神戸市)

同窓の 心暖か 春の日に

北嶋弘一 (44院修工 京都市)

さくら咲く 学びの庭の 野点かな

田中康二 (44学工 大阪市)



の桜を臨む第2学舎にて総会を開催し、会員約60人が出席した。

西村嘉郎会長が議長となり、昨年度の事業・会計報告と今後の活動方針が全会一致で承認され、震災をテーマにマスコミ人として果たすべき役割について考える学生向けのシンポジウムを今年6月に開催することが決定した。

その後、全国制覇に導いた体育会サッカー部監督の島岡健太氏から講演を頂き、個性を生かした指導とチーム力育成についての硬軟自在な講話に、傾聴の全会場から感歎の拍手が送られた。

総会後の懇親会は、上原理事長、楠見学長をはじめ、多数の来賓の出席を賜り、マスコミ業界志望の学生も参加し、活気に満ちあふれた会合となった。

った。

(関西大学広報課)

総会と近況報告

— J R 関大会

昨日までの肌寒い天気と変わって絶好の花見日和の中、スプリングフェスティバルに合わせ法文学舎1号館の教室で「J R 関大会」を開催しました。ほぼ満開の桜並木の中を教室に向かうと懐かしい学生時代を思い起こさせてくれます。今回の参加は14人で、総会と皆の近況を話し合った後、グラウンドで弁当を食べながら応援団による歓迎セレモニーを楽しむことができました。これからも、家族連れを含め、花見の行事の一つとして、スプリングフェスティバルに参加いただけるように会員に宣伝していこうと思っています。



板井征人氏の講演聞く

— 社会保険労務士関大会

(小西ひさし)

社会保険労務士関大会スプリングフェスティバル集會が、桜満開の千里山キャンパス経商学舎にて開催され、東京・名張・静岡・和歌山など遠方からの会員も含め34人が出席した。

高田綾子氏の司会で進行、牧江副会長の挨拶、関大の五藤法人本部長の大学の近況報告、続いてアメリカンフットボール部ヘッドコーチの講演が行われた。

身長185cm、いかにもスポーツマンらしい精悍なスタイルの板井征人ヘッドコーチから、一時間強に亘り、コーチ指導とはどういうものか、



総合関関戦前哨戦 ボクシング部圧勝！

関西大学と関西学院大学の両体育会が、良きライバルとして対戦し、親睦を深める総合関関戦。その前哨戦としてボクシング関関戦が凱風館3階で2時より開催された。

ライトフライ級からミドル級まで両校9人ずつが対戦。ワンラウンド3分、3ラウンドで1試合の勝負が決まる。

小坂体育OB・OG会会長はもちろん、上原理事長、池内専務理事も駆け付け選手達に熱い応援を送られていた。「行け行けワンツーや、ボディー・ストレートや」「よっしゃー休むな、チャンスや行けー」等々の声援で会場は大いに盛り上がった。

顧問の亀田健二先生（政策創造学部教授）は、一試合終了ごとに必ず選手一人一人に声を掛けて激励されていた。ここまで先生に応援されれば選手達も頑張らざるを得ない。

ワン・ツー・スリーとパンチの連打が的確に相手の顔面とボディーをとらえ勝利した第3試合をはじめ、強烈な左ボディーでダウンを奪いレフリーストップで勝利した第8試合等、7対2で関大の圧勝となった。

ボクシングは、如何にポイントをうまくきちんと取るかが大切な頭脳スポーツなんだと改めて学んだ。5月13日からリーグ戦が始まるので皆さん応援して下さいね。

(広報部 岡田美由記)



フットボールに怪我は普通、これを如何に安全にするか、コーチと選手の間での信頼関係の構築、勝負は運と根性・根気である等、社会人として

も必要で学ばねばならない大切な事だと痛切に感じる講演を頂いた。
以文館の食堂に移動しての懇親会では、新入会者紹介・

乾杯と和氣藹々の時間を過ごした。その後、中央グラウンドに移動し、応援団・チャリダーの演舞を見学し、全員で逍遙歌を合唱、お開きとなった。
 (広報部 北本浩三)

二宮会長が特別講演 —臨床心理士会—

桜満開の4月8日、臨床心理士会第6回総会・研修会が第2学舎2号館C304教室で開催された。

特別講演では「ジェンダー・アイデンティティに触れる心理臨床」をテーマに二宮ひとみ会長にお話しいただい



た。また今回、新たな試みとしてランチョンセミナーを開催し、西藤奈菜子会員から「リウマチ性疾患の子どものための描画に関する研究」という演題で講演いただいた。

引き続き、午後のワークショップでは「全体評価による描画テスト解釈の実践」というテーマで関西大学教授寺嶋繁典会員よりご発言いただいた後、集団で健常者のデータを討議することで、心理査定能力向上の機会を得た。今後も校友会で会員相互に研鑽を深めていきたい。
 (川端康雄)

今後も 春秋の集いを継続 —第一新生会—

一昨年5月、卒業60周年記念総会を機に、今後は春と秋の集いを気軽に開催して旧交を温めようとの申し合わせをし、その2年目の春の集いを開催した。

藤井副代表の司会で開会。冒頭、横田・藤本両恩師と初山・柳川の同窓に黙祷を捧げた。続いて、上原理事長と寺内校友会長の歓迎挨拶を受けた。

挨拶に立った篠原代表から「予定者12人が全員揃い感謝します。しかし、お互い高齢



となり、本年をもってこの催しをやめたい」との提案があったが、「形あるものは残せ」との発言があり、この意見が満場一致で採択され、こともなく継続が決定する一幕があった。

懇親会では、暫く62年間の思い出話に花が咲き、交歓を深めた。終わりに全員で逍遙歌を合唱して締めくくり、来年の再会を約して散会した。

(副代表 藤井昭三)

今後の会のあり方検討 —予科療爛会—

予科療爛会では、第2学舎C201教室で総会を開催した。

絶好の花見日和となったが、出足は期待に反して5人と寂しかったが、総会とあって出席者は全て会的首脳部となっ

さあー 学歌を歌いましょう！ コールテクニカOB会が歌唱指導

コールテクニカOB会(武内博資会長)は、学歌を校友に1番から3番まで覚えてもらおうと学歌のカラオケ教室と、ワインやポップコーン他の販売を企画し、「関西大学歌集」120部を用意して歌う人たちに配布。

この歌集の難しい漢字にはルビつきというやさしい配慮がうれしい。

テントの周りからは途切れることなく、学歌や学生歌、逍遙歌など素晴らしい歌声が聞こえ、コールテクニカOB会顧問の寺内校友会長が来られると、より一層盛り上がり、一緒に学歌を歌った。

今まで私は、支部総会や代議員会等で学歌や逍遙歌を数えきれないほど歌ったが、今回いただいた歌集をじっくりと読んで思った。

これからは格調高い歌詞を大切に、より心を込めて歌おうと。
 (広報部 三木允子)



た。
 定刻には、本部から寺内会長の臨席を賜り、記念撮影の後、激励の言葉を頂いた。
 今回の総会は、東浦栄一君

が会長に就任以来4回目となるが、話題は昨年の卒業60周年の盛会と、今後の会のあり方が話題となった。継続開催の位置付け方について、忌憚

のない意見交換をかさねつ、
会食を共にして総会を開じた。

(木村史朗)



卒業60周年総会へ光明

— 学部27年会

恒例の家族懇親会を第2学
舎C205教室で開催した。
今回は、予想を超える同伴
3家族を含めて24人が参集し
た。中でも夫人2人の参加は
毎年ながら華やかな彩りを添
えていただいた。

芝田精二君の司会で開会。
定刻に併せ上原理事長と寺内
校友会長が歓迎の表敬挨拶に
来室され、挨拶を頂いた後、
畑下辰典会長が「6月に迎える
卒業60周年への兆しに大きな
光明を灯していただいた」と、
盛大な懇親の集いに喜びを
示した。
限られた時間のため、早速

乾杯に移り、遠隔から駆けつ
けた橋本達彦君の音頭で杯を
挙げ、会食に入った。

出席者からの一言スピーチ

では、「60周年への期待」「在
学時との学園環境の変化」
「文武に精彩を欠く後輩への
檄」などが語られ、また、江
戸期の武道免許の巻物の実物
を持参し、母校での永久保存
を願う奇特な思いの同窓など、
話題は尽きず、母校発展を祈
念する熱い思いが漲っていた。
逍遙歌を合唱してお開きと
し、歓迎セレモニー会場へと
向かった。
(宮道伊佐美)

みんな元気で頑張ろう

— 二九千里会

晴天に恵まれ、併せて桜も
満開、これに優る喜びはなか
った。二九千里会は、30人が
出席して100周年記念会館



のレストラン紫紺で懇親会を
開催した。

記念写真を撮り、「みんな元
気で頑張ろう」と高橋会長が
挨拶。続いて武智会員から家
賃等の取り立てについての法
改正の経過説明があった。

事業予定については、坂田
旅行幹事から本年度の計画を
提案、老齢につき日帰り希望
が多いため、京都でのんびり
過ごすことになった。

(高橋一志)

仙台から恩師が出席

— 鉄川謝交会

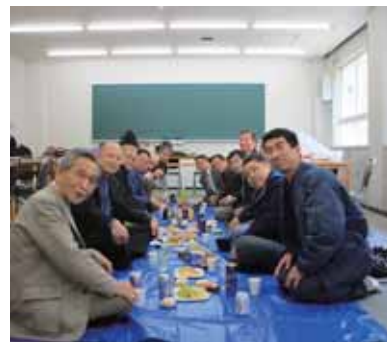
東日本大震災で被災された
鉄川先生に支援物資を送った
前回の総会から早や一年。今



年は仙台から先生がお越しに
なり、この日集った16人の教
え子たち一同は特別の思いを
持って先生を出迎えた。

総会では事業報告等を行

い、続く懇親会はシートを広
げ車座になる恒例のスタイル
でいつものように和気藹々と
歓談。また、途中には増地常
務理事をはじめ寺内校友会
長、田中校友会副会長にご訪
問ご挨拶をいただいた。午後
からは相撲部OBである謝交
会平野会長のご好意で相撲部
にお招きをいただき、OB及
び現役部員の方々と共に土俵
を囲んで振る舞いちゃんこの
ご相伴に与かり、相撲部の皆
さまと親睦を深めることがで
きた。
(幹事 藤森憲子)



関大ファミリー実感

— 一高同窓会

卒業して20余年、初めてス

プリングフェスティバルに参加
させていただいた。桜が咲き
ほこる中、校友会の各支部や
団体が千里山キャンパス所狭
しとブリスを設け、各所で懐
かしい声や人と出会うことが
できた。一高同窓会は、恒例
の餅つきでテントには常に行
列が出来るほどの盛況でした。
私も、きな粉餅を配布した
り、もち米を蒸したりと忙し
くしていると、別のブリスから
差し入れが届いたり、先輩方
に声をかけてもらったり、懐
かしい同期と談笑したりと、
関大ファミリーを心底から感
じることであった楽しい時間
を過ごさせていただいた。
今年残念ながらお越しにな
れなかった方も、来年こそは、
うらかな春を感じに関大千
里山キャンパスへお越しくだ
さい。そして一緒に餅つきを
しましょう。早くより準備い
ただいた役員の皆さんに心よ



2012 スプリングフェスティバル

り感謝申し上げます。また、当日温かい言葉をかけていただきました先輩方、本当にありがとうございました。

(第36期 橋本幸治)

1期生も数人が参加

—機友会

スプリングフェスティバル開催にあわせて、工学部・機械系学科の集まりである機友会の総会・懇親会が第4学舎・講師控室で開催された。昭和33年に創設された工学部。当日は、第1期生数名はじめ約30人が集まった。

第1部総会は、定刻から報告と議案を審議、役員改選案も出席者全員の「異議なし」発言により議案はすべて承認された。引き続き第2部懇親



会では、賑やかに春らしい「お弁当」をつつきながら、第1期生から54年の歳月を経た若者まで、和気藹々の集いとなった。

中央グラウンドで開催された歓迎セレモニーに全員で参加。天気にも恵まれた母校で青春を思い出しながらの楽しい一日を過ごすことができた。

機友会は、毎年、スプリングフェスティバルにあわせて懇親会を開催しているのでは是非参加されたい。

2013年には「創設55周年を祝う会(仮称)」を計画しているのようしく!

(幹事長 長谷川洋司)

5月にハイキングを実施

—社会学部同窓会

社会学部同窓会は、「2012社会学よっといデー」と銘打ち、18人の同窓生の参加を得て、第2学舎で開催した。

顧問の東村高良教授による「関西大学の現況」等の講演や、参加者全員で今後の具体的な活動計画を中心に討議し、和気藹々の内に有意義な時間を過ごした。

次回のイベントとして、5月に「大山崎山荘美術館とサントリー山崎蒸溜所の見学に



行こう」と題してハイキングの実施を決定。

最後に、中央グラウンドでの歓迎セレモニーに参加し、次回イベントでの再会を誓って散会した。(会長 横山豊)

恒例の幹事会

・総会を開催
—応援団OB千成会

経商学舎A501教室で、応援団OB千成会(工部)24年度幹事会・総会が開催された。

幹事会では、議案である23年度事業報告、23年度収支決算書、監査報告、24年度事業、24年度予算、役員の件、スタッフの紹介について滞りなく承認された。

幹事会終了後、母校の桜が咲き乱れる季節を迎えることができた喜びを感じながら教室でお弁当を頂いた。多くの



先輩・後輩と談笑しながら気がつく12時となり、総会が開催された。

中川会長代行から開会の挨拶があり、物故者への黙祷、八田幹事の指揮による団歌斉唱が行われた。吉田会長の挨拶の後、幹事会で承認された議案について再度議事が進められ、滞りなく承認された。

宮原田監督から現役応援団の近況報告があり、池田副会長の閉会の挨拶が行われ、散会となった。

(82代 副会計幹事 岩崎隆)

高齢者の医療は 高い!

—天六同友会

天六同友会は、昨年まで3回、留学生との意見交換の機会を設定してきたが、本年は



ビールと弁当で久しぶりに会員間の交流・懇親会とした。参加者は12人。

会員の挨拶は、近況報告から、健康、病院通い、さらに会員の計報等についての話題となった。中でも各自の後期高齢者医療の本人負担が1割か3割とか、配偶者を亡くして所得制限額が低くなり2重の痛みを被っているとか、高齢者には医療関係費が高つくとの認識を共有。更に、川端康成の生誕など文学や同友会の運営問題にも及んだが、歓迎セレモニーに参加するため、和やかな交流・懇親会は終了となった。(副会長 水上義博)

3団体合同で懇親会

—応援団OB長柄会

昨年と同じく「関西大学スポーツマンクラブ」と「司法

書士関大会」及び「関西大学応援団OB長柄会（Ⅱ部）」の3団体が法文学舎の1つの教室を借り受けての合同開催となった。

会の冒頭、大谷啓二長柄会会長の挨拶に続き、現役チャリディング「クレアーズ」顧問の山本英一教授の挨拶、上符長柄会副会長の乾杯で開会となった。

また、宴たけなわ、長柄会の若手、OBバンドと現役チャリディングによる「応援歌」「新学生歌」を交えて、30分の演舞演奏を披露した。

その後、中央グラウンドでの歓迎セレモニーに参加し、再度、法文学舎に戻り、現役クレアーズと家族連れも含めた会員約50数人が和気藹々な昔話に花を咲かせ、充実した一時を過ごし、別れを惜しんで散会した。

（事業部副部長 古川大介）



事業部と

たこ焼き店出店

スポーツマンクラブ

昨年同様、盟友の応援団OB長柄会（Ⅱ部）、司法書士関大会と3者で教室を拝借して懇親を深めた。

が一方、今年は事業部とコラボしてたこ焼き店を開き、皆さんを歓迎しようということになり、策を巡らせた。素人集団ながら練習を積み、この日を迎えることになった。

特に、新作のプチトマト＋チーズの伊太焼は、人気が高く品切れ状態。結果、1パック12個入を350余パック販売、同時発売の樽酒も完売した。

たかがたこ焼きですが、設営、器具手配、材料買い出し、またネタ作り、焼き手、販売に後片づけと苦労したが、なかなかの好評を博したことで、大いに報われた。また校



友会事業部の方々と良き関係を築くこともできた。

自画自賛ながら、スプリングフェスティバルを少しでも盛り上げることができたのではないかと思います。花の雲に被われた千里山学舎を後にした。

（副会長 陸田弘行）

おばちゃんパワーに

サクラも脱帽

女子秀麗会

サクラ♪サクラ♪と口ずさみながら、おばちゃんパワー全開でバザーはオープン。長い冬とやっと縁が切れ、寒さも吹っ飛んでしまう好天気に恵まれました。

コーヒESHOPで、昔話に花を咲かせる校友や家族達で賑わい楽しいひと時を過ごしていただきました。またお馴染みのハーブ商品の石鹸や、かわいい小物も常連さんに大人気。持ち寄ったバザー品の



かけひきにも「これをもっと安ならへん?」「なんぼやったら持つてく?」と、こてこての大

阪のおばちゃん風景に思わず笑いが…。最後は「えい!」ってけえ」と叩き売り。結婚相談所「URARA」のPRもしながら、恒例のバザーも完売御礼でした。（坂本恵子）

現役と意見交換

華文会

絶好の花見日和のもと、スプリングフェスティバルに参加した。

今回は、現役学生、卒業したばかりの人、数年前に卒業した人を含め、15人の参加があった。

昼食をしながら、文化会活動や文化フェスティバル等についての意見交換を行った。

その後、現役学生といっしょに中央グラウンドに場所を



移し、応援団による演舞・演奏を楽しんだ。

「関西大学文化会OB会華文会」で、フェイスブックを開設していますので、こちらのほうもぜひご覧ください。

（幹事長 三坂友章）

参加者と学園歌合唱

コルテクニカOB会

今年は、カラオケコーナーを設けて、関大の学歌、学生歌、逍遙歌等を流して、皆さんに歌唱指導をしながら一緒に歌うコーナーを設けました。

沢山の方に集まっていたので、大いに盛り上がり、好評でしたので、来年も検討したいと思っています。

また、例年通りに模擬店では、ポップコーンと奈良名物のぜいたく豆本舗のあられセットとオーストリア・ワインの販売を行い、こちらも好評でした。

（奥村正治）



2012 スプリングフェスティバル

遠隔地からも出席

— 秀麗寮士会



秀麗寮士会「春の集い」ということで、寮生活を過ごした卒業生が集まった。群馬、富山、広島の遠隔地からも参加があり、75歳を筆頭に39歳まで23人が旧交を温めた。

近況を報告しあい、元気な様子が確認できたのが何よりだ。中央グランドでのセレモニーにも参加し、隣り合わせの学友とも肩を組み合って逍遙歌を歌い、一気に学生時代に戻った。

卒業後初めて参加した人はキャンパスの発展に目を見張っていた。校内を散策し、俳句や茶道部のお点前を頂いたり、展示された施設も見学し、楽しい一日を過ごすことができました。自然に「来年も集まろう!」と再会を誓って解散した。

散した。(44卒 尾崎正幸)

役員改選は全員留任

— 書道部OB・OG会



第17回書道部OB・OG会総会を第2学舎A503教室で開催し、OB・OG32人と現役23人が参加した。

凜風館では、創部60周年記念第5回オール関大書展、夕方6時から大阪第一ホテルで記念パーティが催された。

総会は、昨年度の経過報告と本年度の行事予定、会計報告及び会計監査承認の後、役員改選は真砂会長が自ら留任を提案し、役員全員会長に一任で留任に落ち着いた。また、現役部員の新役員紹介と昨年度の経過報告及び本年度行事予定が報告され、最後に創部60周年記念誌の6月発行の連

絡がなされた。

終了後、桜が満開の総合図書館前で記念撮影。

(OB・OG会事務局)

上原理事長も訪問

— 雄弁会OB会

今年も団塊の世代前後の雄弁会OB10人が再会した。OB会も今回で5回目。恒例になるとこの日が待ち遠しい。

今年とはくに観音寺市から加地君が駆けつけてくれ、また、明治・中央・関大の弁論大会で優勝を争った明治大学雄弁部OBの藤澤さんや、雄弁会の大先輩である上原理事長、宮腰福島支部長の訪問を受け、大変盛り上がった。

再会した面々は、当時の学生運動の渦中で青春をともにした仲である。

また、全国弁論大会出場に向けて発声練習や弁論原稿の作成にいそしみ、青春を燃やした仲でもある。お互いの近況報告にも熱が入ってくる



咲かせ、名残惜しみつつ、来年の再会を約束して散会した。

(石割信雄)

現役のライブに喝采

— 交響楽団OB・OG会



桜満開の美しい千里山キャンパスを眺めながら、教室で80歳から20歳代の35人の楽しい親睦会を開催できた。

前顧問の土倉教授・寺内校友会長のご挨拶を頂き、寄贈式(山居会員から貴重な演奏会プログラム等を現役へ)の後、和気藹々の親睦会が催された。

年代ごとの音楽気質等の日ごろ聞けない話に花が咲く中、現役の四重奏のライブによる美しい調べに拍手喝采、楽し

い集いになった。また、家族での参加者もあり、和やかな心の通う時を過ごした。

その後は、各会場での熱気あふれるイベントを楽しみ、時を超えたすばらしい集いになり、来年の再会を約束した。

(会長 谷口眞人)

11月10日に

記念総会開催

— 法窓会

法律相談所OB会法窓会は、4月8日のスプリングフェスティバル当日に総会を開催した。

冒頭、寺内校友会長、クラブ顧問の上原理事長から歓迎、激励のお言葉を頂いた。法律相談所は、千里山法律学会から独立して50周年を迎えることから、本年11月10日(土)午後6時半から、新大阪ワシントンホテルプラザで50周年記念総会を開催すること並びに出版、記念ゴルフ大会などの記念事業を行なうことを決定した。

第1期OBの方をはじめ40人の参加を得て、各々学生時代を振り返って歓談の輪が広がり、和気藹々の内に閉会となり、賑やかな歓迎セレモニー会場へと繰り出した。

(会計幹事 大東恭治)

世界に開けた大学へ！ ～歓迎セレモニーに留学生27人が参加～

待ちわびていたように桜が開花し、春たけなわ晴天の下、スプリングフェスティバルが開催された。今年も在学中の留学生が招待され、27人が中央グラウンドで開催された歓迎式典に参加した。寺内校友会長、上原理事長、楠見学長が母校の国際化推進を力強く宣言し、留学生たちは寺内会長に紹介されてスタンド席で起立し、校友たちから温かい拍手を送られた。ベトナム、アメリカ、中国、ニュージーランド、ベルギー、韓国など世界各地から来ている交換留学生と私費留学生。そして先頃完成した南千里国際プラザの寮に滞在中の別科の中国人留学生4人である。

参加した留学生に日本文化及び関西大学との出会い、将来の夢などについて話を聞いてみた。

ニュージーランドから来日したマッキンタイア・ライアン君（20）は、11歳のとき、映画『マトリックス2』で刀と忍者に心奪われたのがきっかけで日本に興味を持った。中学時代から7年間日本語を勉強しただけあって流暢だ。母校ヴィクトリア大学で教わった先生が関西出身だったこと、ニュージーランド人の先生が関西大学で教鞭をとっていること、更に入部したいと熱望している剣道部の先生が同郷であることなどから、関西大学を選んだという。日本語と英文学を学んでいる。同じ大学から来たフォルスター・エリンさん（20）は、将来は日本に住んで働くことが夢だ。二人は来日したばかりの時、“ボランティア学生”に助けられた。銀行口座を開設するに当たって必要な印鑑についてアドバイスを受け、ライアン君は「来安」、エリンさんはファーストネームのフォルスターからスター（星）をとって「☆」マークの印鑑を作ることができた。

女子留学生の一人は華やかだ。タイから来たバーンセン・ピンヤモンさん（22）は、海外でも人気の高い日本のマンガがきっかけで日本語にハマった。タイと日本をつなぐ翻訳家と通訳を目指している。韓国の漢陽（ハンニャン）大学で広報・PRを学んでいたパク・ハヌルさん（23）は社会学部で広告を学んでいる。将来は広告関係の仕事に就きたいという。ファン・セウォンさん（22）は「日本語はかわいい」と思ったそうだ。母国の大学でも日本語を専攻していたが、今も留学生向けの日本語と日本文化の授業を熱心に受けている。航空会社の地上勤務希望だ。いずれは日韓の架け橋となってくれることだろう。

中国から来た張偉（チョウ・イ）君（29）は、日本のものづくりに興味を持ち、人づくりにも優れた日本企業に就職したいと目標を定めて3年前に来日。2年間栃木県の日本語学校で学んだ後、昨年関西大学の試験を受けて合格。現在商学部の2回生だ。商業を学ぶにはやはり商人の街、大阪がいいと思った。授業も親切で留学生のフォローもしっかりしてくれたと、関西大学を卒業した友人から評判を聞き、オープン・キャンパスに参加して決めた。授業はすべて日本語なので、録音したり友人のノートを借りてがんばっている。学友はみんな弟や妹のような存在だ。勉強の合間に日本各地を旅行するのを楽しみにしている。日本の歴史や文化が好きで、黒澤明監督の映画『乱』を見て、戦国武将に夢中になった。日本のサムライ文化は外国の男子の心をもしっかりつかんでいるようだ。企業戦士となっても、サムライとして様々な苦難に斬り込み立派に戦っていくことだろう。

国際プラザに滞在中の別科の学生は、生きた日本語の習得に日々取り組んでいる。中国からの学生が多く、キャリアに役立てたいという社会人も少なくない。

現在、交換留学生約70人、私費留学生約630人、留学生別科には約30人が学んでいる。協定校は世界各地に65校ある。また、日本で生活を始める留学生をサポートし、異文化をつなぐ大事な役目を担うボランティアの学生は、現在日本人、中国人合わせて12人がキャンパス内外で大いに頑張っている。

2012年、関西大学は益々国際化を推進し、世界に開けた大学として進化していく。さらに協定校が増えれば留学生数も増え、キャンパスは国際交流の場として花開く。留学生たちには快適で充実した実り多い学生生活を送ってもらいたいものだ。

日本の教育レベルの高さや日本文化の奥深さを知った彼らは、帰国後も日本そして関西大学の素晴らしさを語り続けてくれることだろう。また、学生たちは留学生と共に学び時間を共有することで、日本人としての自分のアイデンティティを日々問われ、自問自答しながら国際人として成長し磨かれていく。やがてコスモポリタンとしての知識と教養を身につけ専門分野を活かして、日本人としてまた関西大学卒業生としての誇りを胸に、言葉の壁を越えて世界にはばたいていく。

この国際化の時代に、後輩たちの活躍は頼もしく誇らしいことである。校友として留学生にエールを送り、母校の国際化推進を今後もサポートしていきたい。

（広報部 山本淑子）



好友抄

副会長
田中 義昭

校友会本部の代表として各地の組織を訪問するにつれ、多くの校友諸氏と言葉を交わす機会が多くなった。この中の貴重なお話を、校友の皆様にお知らせしたいと思い「好友抄」として掲載することとした。

昭和18年11月威徳館で仮卒業式と壮行会 神戸学長からの褒賞と記念品は今も誇りに!!



八木 晟次氏
89歳 神奈川支部役員

い敷地にのびのびと建っていた。想い出の先生は、英語の八島治一先生でチェロを嗜まれた。時に夕食をご馳走になり、チェロをも拝聴されている。国語の金子又兵衛先生のお宅は、吹田市内本町の大きなお家であった。石橋の下宿に帰る途中に金子先生宅に寄られ、美味しい白米「朝日（注1）」を頂いておられた。曾根にお住まいの、英語の先生（氏名不詳）は英語の発音が素晴らしい。当時大変珍しいキーキを入手されると「食べに寄りなさい」と声をかけられている。

昭和17年第一予科入学・18年卒業。第一予科は、1学年1クラス100名。昭和17年、1学年、2学期9月に、学級委員となられた。学生服の襟に、金モールの丸く縁取りされたバッジを卒業まで着けられたことは、その後の人生に役立ったと仰っている。

1学年の時は、未だ戦争の影響も少なく、平穏な楽しい学生生活であったとのこと。千里山の敷地は第一予科、第二予科の校舎と体育館が広

また、西洋史の若い先生（氏名不詳）からは、中世時代について度々授業外の教えを受けられるという、温かい環境の学生生活が垣間見える。しかし、昭和18年の、2学年になると戦況が目に見えて厳しくなる。通学にはゲートル（注2）の着用、軍事教練の時間が増え、大阪市内に防空壕、消火用水池の建設、消火ホースの取り扱い等のため、かなりの授業が休講となる。

それまでの、学生に対する徴兵猶予（注3）が、昭和18年10月12日に取り消され、横浜での徴兵検査（注4）は「第2乙」合格でもって12月1日入隊となる。



威徳館の内部

兵役が決まり、これから

制御盤配電盤製作・計装、電気工事

共栄電器工業株式会社

代表取締役 柳 楽 信 義

本社 〒660-0815
尼崎市杭瀬北新町1丁目16番1号
電話 大阪(6481)8807番(代) FAX(6482)7172
〒177-0033
東京営業所 東京都練馬区高野台2丁目6番16号
電話 東京(3904)1521番 FAX(3904)3430
ホームページ <http://www.kyouei-d.co.jp>

関西大学・教育後援会・千寿会・一高・一中・幼稚園ご下命店
学・校章型署賛(上用)謹製

厚生大臣賞 受賞
日本食品衛生協会会長賞 受賞

和 洋 御 菓 子 司

株式会社 **昌月堂**

〒556-0011 大阪市浪速区難波中3丁目13番28号
電話(06)6641-1666(代) (06)6641-6565(代)
FAX(06)6647-6478・(06)7662-6550
代表取締役 山 本 雅 己(S53学1法卒)



『関西大学120年史』に掲載された予科生の残したノートの写真。

在、年史編集室に保存され、且つ64年後に発刊された母校の年史に、八木先輩のページが掲載されるという偶然が生み出した結果に驚いている。

甲子園野球場において、関西地方大学生の学徒動員出陣壮行会が万余の中に行われた。関大からも数百名参加している。八木予科生は、他の同僚予科生が銃を担ぐなか、先頭に立ちサーベル（注6）を手に行進された。

八木先輩は、横浜出身であり入営帰郷の時には、只一人の出立にも拘らず、大阪駅に多くの予科生が見送りに来ている。沢山の日の丸の波の中、学歌、逍遙歌、万歳、万歳の見送りに、涙がこぼれ落ちたと言っておられた。その後は、横須賀海兵団に入団され、予備学生の試験の後、旅順にて教育を受けられた。帰られて

「航海学校」で剣道部主将の「上野勝也君」と再会され、声を交わされた。

いよいよ19年、呉の第2艦隊、軽巡洋艦「矢矧」勤務となる。「大和」と合流した艦隊は、沖縄方面へ出撃前夜の徳山沖で「原艦長より八木予備士官ら23名に下船命令が下る（注7）」。この温情ある措置に、ご本人は「何分にも未熟なる理由によって」と謙遜された。2日後、太平洋聯合艦隊は米軍により壊滅させられた。「矢矧」は魚雷6本、爆弾5本を（資料参考）被弾し撃沈された。出征予科生のうち、何名が生還されたのか真に胸詰まる壮絶な時代であった。

20年8月15日終戦を迎えるも、翌年5月まで近海での機雷除去にあたられた。八木先輩の終戦は、国内にいてさえ9ヶ月遅れとなる。横浜の自宅も20年5月の空襲で予科生時代の大切な想い出の品々も消失されている。そして、関大に戻ることは考えもつかなかったと最後に仰られた。

末尾に「関西大学第一予科の先生、学生の皆様有難うございました」と記された。

（注1）米の銘柄
（注2）スポンの裾を厚手の木綿で巻き活動的にするもの。日露戦争頃から陸軍で用いられ、後に海軍でも



着用した。

（注3）徴兵令は、男子満20歳に達したものを兵籍に編入する制度が明治6年1月公布されたが、大学・高等学校・専門学校・専修学校の学生・生徒には徴兵猶予があった。

（注4）徴兵令にもとづき、満20歳に男子が行う身体検査。健康状態により甲種・乙種合格（以上現役兵役適合）、丙種合格・丁種不合格・戊種に分類されていた。

（注5）昭和3年、昭和天皇即位の際に使用された大饗宴場が関西大学と河内長野市の観心寺に下賜された。昭和6年7月移築起工し同7年2月落成。千名を収容でき、講堂、武道場として昭和28年まで使用された。なお、後に千里寺に一部は移されている。

（注6）西洋式の剣

（注7）この時の下船命令は「矢矧」のみならず「大和」を始めとする聯合艦隊に出された。

浦大典氏の作品が
博覧会で
京都府知事賞受賞
西陣織に



西陣織・織物製造業の（有）太田商店（太田幸典取締役）平11院博覧会）は今年2月、現代美術家の浦大典さんとコラボすることになった。そして、その第1回のコラボ作品2点のうち、1点が3月16～18日に行われた「2012西陣織大博覧会―西陣織大会―」において「京都府知事賞」を受賞した。受賞した作品は審査員諸氏から絶賛され、同業者からはもちろんのこと、見学に訪れた多くの人たちからも好評を博した。

今秋には、今回の受賞作はもちろんのこと、両者の作品を結集したコラボ展を社団法人京都国際工芸センター1Fギャラリー（京都市中京区）で実施することを既に企画している。

初めてのコラボ作品が見事、入賞したことにより、次回以降の展開が楽しみになってきた。

（太田幸典）

■正規取扱メーカー／アルファロメオ・フィアット、シトロエン、ロータスカーズ、MG Rover、シボレー・スタークラフト、キャデラック、HAMMER、ケーターハム・スーパー7、モータン
＜その他取り扱い車種＞メルセデスベンツ、BMW、ボルシェ、フェラーリ、フォルクスワーゲン、アウディ、ジャガー、ボルボ、ロールスロイス、ベントレー、ランチャ、マセラティ、プジョー、Mini、その他クラシックカー・欧州車全般

ジロン自動車株式会社

昭和37年 商学部卒 会長 吉田尚司

<http://www.jiron-auto.co.jp>

〒556-0001大阪府大阪市浪速区下寺3-8-5 TEL.06-6644-0010 FAX.06-6644-0011
●営業時間：〈平日〉9:00～19:00 〈日祝〉10:00～19:00 年中無休 ※年末年始は除く

北から 南から 《各地支部だより》

「北から南から」投稿について

- 支部や職域などの活動をはじめ、校友同士の交流の話題を中心に「寄稿ください」。
- 字数は400字程度とし、郵送、ファクス、Eメールで受け付けています。併せて写真も1枚添付してください。
- 紙面の都合上、文章を要約、あるいは一部割愛させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。また、原則として偶数月の20日到着分までを翌月15日付発行号に掲載しますが、次号にまわす場合もあります。
- 掲載の際は、筆者名、支部・団体等の連絡先・電話を付記しますが、機関紙以外には使用いたしません。

▼投稿先 ▲〒564-8680 吹田市山手町3-3-35

関西大学校友会機関紙「関大」編集部

FAX 06-6380-8476

Eメール koyukai@ml.kandai.jp

また naruoka@jm.kansai-u.ac.jp

支部創立101回の継承に成功 幅広い年代で熱い絆、母校への絆

東京支部（堺精一支部長）の創立101年目となる新年総会が2月18日、関西大学東京センターで開催された。

校友会本部及び東京センターと首都圏の千葉・神奈川・埼玉の支部代表の来賓と、昭和27年卒から平成22年卒までの幅広い

年齢の校友約60人が集った。9人の初参加者とも新たな絆がしっかりと結ばれた。

第1部総会では、堺支部長（50工）が「昨年から年会費の導入により更に支部活動を積極的に進めていきたい」と熱く抱負を語った。来賓挨拶として寺内



校友会長と東郷事務局長から母校の近況と校友会の方針、東京支部への激励の挨拶を頂いた。続いて議事に移り、活動報告、会計報告の全てが承認された。

今年の特別講演は、神戸からこどもコンサルタントの原坂一郎氏（54社）にお願いした。原坂氏のもう一つの顔は「怪獣博士」、冒頭ウルトラ警備隊のBGMとユニフォーム姿の入場で一年度肝を抜かれたが、保育士時代に子供から教えられた「子供はまわりのすべてを自然と思いい、文句を言わない、笑顔のものとを見つけるといふ、認めることの大切さ」と、大人も「無いもの探し」ではなく「あるもの満足」をみつめる提案を頂いた。第2部懇親会は、大野東京センター事務長の乾杯挨拶で開宴。支部役員紹介、新会員紹介の後、毎年好評の「母と子の

絆」をテーマに活動中の橋本昌彦氏（平15社）のライブコンサート、アンコールに「上を向いて歩こう」を皆で合唱し大いに盛り上がった。

続いて応援団OB田村怜嗣氏（平17法）のリードで、全員が肩を組み追遙歌を歌いながら絆を深め、最後に柳田副支部長（37法）の挨拶で締められた。

（常任幹事 寺井浩二）
（東京センター内）03-3211-1670

生きがいに繋がる趣味大切 恒例の「私の物語」で

神奈川支部（重延義樹支部長）は、23年度総会「New Year Festa」を2月26日、ミナトヨコハマを見下ろす「東天紅」横浜店で開催した。古川校友会副会長をはじめ6人の来賓と、最高齢米寿での初参加となった八木晟次氏を含め64人が参加。

和服姿が絵になる川崎美佐子副支部長の司会による第1部総会では、古川氏が学校の近況を、重延支部長が同好会活動を報告。恒例となった「私のものがたり」では、リタイア後に毎年海外でのロングステイを楽しむ高橋一弘氏が、生きがいに繋がる趣味を持つことの大切さを語られた。

続く第2部懇親会では、スチールドラムを特技とする新開雅子



副支部長が、先生の鈴木伴英氏や仲間と共に演奏を披露。参加者はしばし異国情緒漂うカリビアン・ミュージックを堪能した。歓談も尽きぬ中、谷口正明最高顧問が中締め、おなじみ応援団OB久澤弘忠氏のリードによる追遙歌で幕を閉じた。

（広報 田中潤二）
（ダイケイ気付）050-1063-9660

「晩秋の古都・鎌倉」堪能 急坂を力合わせ登りきる

神奈川支部では、11月20日、2組のご夫婦を含む総勢29人で鎌倉散策を実施した。

午前中は曇天であったが、日差しが出てくるにつれて気温もぐんぐん上昇して、晩秋にもかかわらず散策中は汗ばむ陽気と



なった。

海蔵寺では、足元の美しい苔の中に可愛らしいリンドウが咲き誇っていて、目を楽しませてくれた。化粧坂は急坂ではあったが、みんなで手を引いたり背中を押したりと、力を合わせて登り切ったのも思い出深いものとなった。銭洗い弁天では、紙幣・貨幣をざるに入れて洗い、「これで金運が巡ってくる」と間違いないし！とお互いに確信し合った。急階段の佐助稲荷も元気に参拝したあと、人出で賑わう小町通へ。

いつもながらの和気藹々とした雰囲気の昼食会場では、遠路はるばる埼玉県から田中千代子先輩（29文）と弓束明美さん（51社）が参加下さったことで、支部を超えた校友の繋がりに参加者全員が心強さと親しみを感じつつ、宴も一層盛り上がった。鎌倉はユネスコ世界遺産委員会に推薦されることに決定して

おり、人気の観光スポットとして注目を浴びているが、今回は「晩秋の古都・鎌倉」をたっぷりと堪能できた一日であった。

世話役・藤原ひで子（昭48法）
新開 雅子（昭50社）
写真・高橋 一弘（昭39商）

新役員6人の増強図る 若い女性数人が初参加

南勢支部（時田耕路支部長）24年（第55回）総会が、3月4日に伊勢シテイホテルで開催された。

校友会から田中副会長はじめ近隣から愛知、北勢、名張、中勢各支部の役員あわせて50人の参加で行われた。平成20年卒や若い女性も数人の初参加があり、フレッシュな総会になった。今年度は新役員も6人の増強が図られ、今後の組織の充実の一歩となった。

アトラクションでは、桂三枝さんの弟子の桂三発さん（津市



在住）の落語を聞き、笑いとなごやかな雰囲気の中、懇親会に移り、恒例のビンゴゲームではテレビや掃除機他、皆に商品が当たり、楽しい一時が過ぎた。

（副支部長 岡野 満）
（時田耕路）0598-26-7209

年度末で総会出席者24人 次回参加希望者は多数

3月17日、松江千里会（岸宏会長）総会が、ホテル水天閣において学歌斉唱で幕を開けた。年度末や人事異動、全国レディスハーフマラソン等の行事と重なり、出席者は24人だったが、次回参加希望者が返信にて多数おり、岸会長（41経）から来年度は本部から役員を招き盛大に開催したいと挨拶があった。

桑原博明副会長（42経）の音頭による乾杯に始まり、終始なごやかな雰囲気の中、逍遙歌で



締めくくり再会を誓った。

（幹事長 大西弘悦・46法）
（大西弘悦）0852-23-1081

二年ぶりに朝稽古見物 他支部にも声をかけては？

「今朝は冷えまん！」などと、白い息を吐きながらバスに乗り込む、家族連れや知人を誘っての総勢20人近くの団体だ。昨年は中止となった大阪場所だが、今年は開幕2週間前の2月28日、大阪市鶴見区放出に部屋を構える三保ヶ関部屋の朝稽古に向かう。当部屋の親方は元大関増位山関。この親方、現役時代は、日本中の特に女性ファンを魅了した喉を持つ、知る人ぞ知る演歌歌手であり、米澤校友（43経）の実弟である。

およそ20数年前から京都支部（牧村史朗支部長）の恒例となつた、場所前の「朝稽古見物とチャニコ鍋を囲む会」。この行事は、年々参加者が増加。今年は2年ぶりとおって、谷町よろしく貸切バスのチャーターと相成った。

若いお相撲さん達の張りのある巨体の激しいぶつかり稽古は迫力満点、満身の力の籠った朝稽古に、俄か谷町は大満足。

締めは、お相撲さんが作る「チャニコ鍋」に舌鼓を打ち、帰りには親方直筆サイン色紙と番



付表を手し、これまた大々満足の日だった。

「来年は、お相撲さん達の番付も上がって、TV観戦出来るかな？」「京都支部だけでなく他支部にも声をかけては」との、参加者たちの声もしきり…。

（竹内孝治）
（大西康治）075-691-3513

真冬のイベントに参加 近隣支部長の激励を受く

2月12日、伊丹市、NPO法人伊丹タウンセンター等の主催による「第10回伊丹わっしょい！冬の元気まつり」、酒造会社主催の「第16回白雪蔵まつり」等、各種団体が連携して伊丹中心市街地活性化を目的とする真冬のイベントが、多くの市民参加のもと盛大に開催された。

伊丹支部（加藤拓支部長）



も、通称「三軒寺広場」に設けられた17ブースの1つを確保し、フリーマーケットを開設した。

ブースの前には「関西大学校友会伊丹支部」の紫紺の幟旗を立て、ブース内は会員が持ち寄った酒類、アクセサリー、タオル、茶わん類、置物等溢れんばかりである。

毎年多くの常連客が訪れており、今年も予想に違わず午前10時開店を待ち切れない様子であった。オープン間もなくして、宝塚支部の兼丸秀樹支部長、川西支部の井上能一支部長の相次いでのお誘い、励み、販売活動にも一段と力が入ったところである。その成果であろう、完売に近い状況の中、午後3時頃閉店、売上も好成績であった。

多くの品物を提供いただいた会員各位には本紙をお借りし、



厚くお礼を申し上げます。

（広報部長 古屋敷達夫）
（ヒラキ気付）072-785-5507

**芦屋さくらまつりに出店
市民に支部活動アピール**

芦屋支部（直林法廣支部長）では、4月7日・8日に開催された第24回芦屋さくらまつりに出店した。

昨年は東日本大震災のため祭自体が中止だったが、支部としては今回で3回目の出店となった。出店団体はNPO法人や芦屋納税協会、芦屋ライオンズクラブなどで、大学関係の出店はわが関西大学校友会芦屋支部のみであり、芦屋市から出店の許可をもらっていること自体、すばらしいことだと思ふ。

校章入りのお揃いの紺色のエプロンをつけ、支部の幟をかか

**武庫川沿の桜花に息呑む
ウォーキングに29人参加**

川西支部（井上能一支部長）歩こう会の春季ウォーキング大会は、4月14日に29人が参加し、約8kmを歩いた。

向かったのは、三田市・青野ダム公園、千丈寺湖である。J

げ、イカ焼き・生ビールなどを販売した。多くのOBやスプリングフェスティバル終了後には近隣支部の来賓の方々にも来店いただき、校友同士また支部間の交流の場を提供できた。

いままで連絡をとれなかった支部校友5人もブースに立ち寄ってくれ、活動内容を報告し、来年2月の総会の案内もできた。まさに校友の輪を広げるチャンスとなり、実り多いイベントだった。また、芦屋支部の活動を地元芦屋市民の方々にもアピールできた。

2日間にわたり若い校友や現役生がスタッフとして参加してくれて、準備・運営・撤収と協力して行い、苦業を共にすることで親交を深めることができた。慰労と反省会を兼ねて懇親会も予定している。

校友の親睦の場として、ぜひ来年以降も出店していきたいと思っている。（依藤健史 54歳）
（依藤健史）0797-23-7004



Rの車窓から外を眺める中、三田駅から下車駅の広野駅までの約10分間、線路と並行して流れる武庫川沿いの桜花の美しさは息を呑むほどであった。

下車後、一行は春の三田路をのんびりと約1時間歩き、「青野ダム記念館」に。小休止したあと集合写真をパチリ。記念館では、学芸員から青野ダム建設に係わる経過や、建設工事現場から出土した土器や農機具の説明、そしてダムがもたらす水利事業などについてビデオ鑑賞を通してレクチャーを受けた。

昼になったところで、各自昼食。眼前の千丈寺湖では記念館の厚意で、日頃あまりしない貯水湖循環のための大掛かりな噴水を見せていただいた。天気も昨夜雨が降ったとは思えないほど回復し、一行は午後のウォーキングに出發した。当初のコー



スを変更し湖畔沿いを遠回りして歩き、途中休むことなく帰路に向かった。

川西池田駅に着き解散となったが、希望者で懇親会に行き、今日の疲れをアルコールで癒した。

（白井 宏・45才）
（荒木敏雄）072-758-1787

**支部フェイスブックを開設
「いいね」やコメントを！**

宝塚支部（兼丸秀樹支部長）では、4月4日の役員・幹事会において、フェイスブックの勉強会（講師は会計の高路瑞穂氏）を開催した。

現在、若手校友の多くは何らかの形でフェイスブックを利用している。支部の役員・幹事のほとんどが、フェイスブックを利用したことがないため、実際にどのようなものかを見て、検討をしてみようということになった。

平成23年度 1級建築士 設計製図試験

当学院
教室開講都道府県
合格者占有率

No.1

合格者の半数以上は当学院の受講生!!

51.7%

当学院教室開講都道府県合格者 4,369名中 2,259名

関西大学 平成23年度 1級建築士合格者

卒業合格者 **51名中、30名が**
当学院の講座を利用して合格されました!

※当学院教室開講都道府県合格者数は、(財)建築技術教育普及センター発表の受験番号より算出。※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。※上記当学院開講都道府県合格者占有率には、1級設計製図講座を開講していない青森県、岩手県、秋田県、鳥取県、島根県、愛媛県、高知県、佐賀県、長崎県、宮崎県、沖縄県の合格者は含んでおりません。※上記エリアから開講の当学院開講教室にて受講し合格された方は、合格実績に含んでおりません。

平成23年度 2級建築士 試験

学科試験	設計製図試験
2級建築士 学科関連コース 当学院受講生 基準達成者 合格率 97.1% 9割出席・9割宿題提出・模擬試験60点 以上受講生615名中、合格者597名	2級建築士 設計製図合格対策コース 当学院受講生 基準達成者 合格率 82.3% 9割出席・9割宿題提出・模擬試験ラン クA受講生141名中、合格者116名

平成23年度 宅建 試験

当学院受講生 基準達成者 合格率 92.5% 基準達成受講生40名中、合格者37名	当学院受講生 基準達成者 合格率 85.7% 基準達成受講生21名中、合格者18名
---	---

平成23年度 1級建築施工管理技術検定

学科試験	実地試験
当学院受講生 基準達成者 合格率 88.8% 9割出席・9割宿題提出受講生160名中、 合格者142名	当学院受講生 基準達成者 合格率 83.2% 9割出席・9割宿題提出・模試基準達成 受講生184名中、合格者153名

※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。

開講講座 無料体験入学実施中! お気軽に下記最寄校まで!

1級・2級 建築士	1級・2級 建築施工管理技士
宅地建物取引主任者	インテリアコーディネーター

株式会社 総合資格

(社)日本経済団体連合会会員 監理技術者講習実施機関 登録番号7
(社)日本建築学会会員 宅建登録講習機関 登録番号(3)第009号
(社)全国産業人能力開発団体連合会会員 宅建登録実務講習実施機関 登録番号(2)第5号

株式会社 総合資格学院 法定講習センター

国土交通大臣登録講習機関 二級建築士定期講習 登録番号 第4号
一級建築士定期講習 登録番号 第5号 管理建築士講習 登録番号 第2号

総合資格学院

梅田校 TEL.06-6374-1411	神戸校 TEL.078-241-1711
新大阪校 TEL.06-6101-1911	姫路校 TEL.079-224-1411
京橋校 TEL.06-6882-8211	京都校 TEL.075-352-3011
なんば校 TEL.06-6648-5511	草津校 TEL.077-566-6911
堺校 TEL.072-222-9311	奈良校 TEL.0742-30-1511
高槻校 TEL.072-686-6711	

今すぐウェブ検索 ケータイサイトも充実

総合資格 検索 <http://gakuin.jp/>

※QRコードは
バーコードリーダー
対応機種に限りです。

www.shikaku.co.jp

学院長 岸 隆司 (法48卒)

応援団的に言いますと「静かに更けゆく冬の日に ここ大阪城外ホテルアルザール泉大津に花と咲く」。11月5日、高石支部(尾崎義之支部長)では50周年総会を開催した。

復活というのは、40周年を同地で開催以来総会を開いておらず、外部等からは休眠扱いだったが、本日は、2カ月に一度役員等が集まり校友会・市民活動・校友の情報を交換して学歌・逍遙歌で盛り上がった。こ

復活をかけて50周年記念総会 新支部長に陸田弘行氏が就任

の機に支部活動を見直す総会とした。

700人余の校友の支部だが、久しぶりの顔・顔・顔が集い、80人の参加を得ることができた。本部の寺内会長ほか平野・堺・泉大津の支部長、スポーツマンクラブ会長、また高石市から阪口市長の出席で錦上花を添えて頂いた。

1部総会では、平成6年から支部長をして頂いた尾崎義之氏に代わり、43年卒の陸田弘行氏



にバトンタッチ。また、他の役員も改選され新しい船出となった。

2部懇親会は、OBで主に泉州で活躍のジャズバンド18人の特別演奏を聴かせて頂き、懐かしい映画音楽、更に応援歌も交え、酔いしれる一時だった。

最後に宮田応援団長の振り、マスター中野ひろしOBのサッ

校友会連携プロジェクト 田中久仁雄氏が講演

四條畷支部(櫻井孝雄支部長)総会が3月25日、市内の料亭・くるまやで開催された。本部の古川副会長はじめ近隣支部の代表らを来賓として迎えた。

総勢23人の校友が集い、第1部総会では支部長と古川副会長から挨拶のあと議事に入り、23年度活動報告・会計報告、監査報告、24年度活動計画案及び予算案の説明後、新年度役員改選の全てが承認された。

続いて校友会連携プロジェクトサイード中久仁雄氏(支部会員)が、「産学連携関西大学の取り組み」と題して講演。産学連携は、大学にとってよりよい研究



と教育のための重要な手段となっている。産学連携の実績の中から開発された製品、技術について最近の進行事例の紹介を通して産学連携の新たな仕組みとして産学協働に取り組む事が必要になってきていると強調され、今後も産学協働の出会いの接点づくりに校友の理解と支援が不可欠であると講演を締めくくった。出席者一同、産学連携の最

新事情など興味深い内容に今後の展開を大いに期待した。

第2部懇親会では、来賓による近隣支部の活動状況や出席者の自己紹介があり、逍遙歌で散会となった。(副支部長 三木宏 (櫻井孝雄) 072-876-0836)

倉田薫前池田市長激励会 支部有志が集い開催

池田支部(古川智支部長)では、3月1日に宝塚のワシントンホテルで支部有志18人が集まり、倉田薫氏激励会を開催した。先の大阪府知事、大阪市長の同時選挙で、校友の前池田市長の倉田薫氏は、各方面の支持を得て知事選に出馬した。池田支部校友は、倉田薫知事実現のため大いに奮闘した。

この日、挨拶の中で、倉田氏の知事選出馬前日の様子が披露された。池田市長の要職を離れて大阪府改革に全力を尽くす覚悟の倉田知事が実現できなかったことは、大いに残念な事態であった。

倉田氏は、「いつ如何なることが起こるかかわからない。足腰だけは強くしておきたい」と、胸の内を表明された。「薫風政治塾」を立ち上げ、活動を開始されたが、政治を志す若い人たちを育成される倉田氏の意気込みに、大いに期待し、この塾から



大阪市、大阪府、更に日本国をより良き方向に改革する政治家が出現することを、待ち望んでいる。

倉田氏の今後の数々の抱負を伺い、心強くした激励会であった。(堀好夫 (古川智) 072-751-2662)

地元FM局が同行取材 講師は文学博士小谷校友

八尾支部(中尾達夫支部長)では、地域密着活動の一つとして今年も「八尾市内史跡めぐり」を41人が参加し4月1日に実施した。講師は八尾市立歴史民俗資料館の文学博士小谷利明校友(57文)。

地元FMラジオ局のレポーターが同行取材。要所、要所で説明を受けながら常光寺へ。地藏盆と河内音頭発祥地で知られた由緒ある寺の説明を受け、大阪



夏の陣で敵の首実験をした縁側を天井板とした「血天井」や足利義満揮毫の扁額を特別拝観させてもらった。

河内木綿藍染保存会では、工房で実演を見ながら村西徳子理事長から型紙や顔料を加えた糊で布の模様を写す時の苦労話を受ける。展示室では、作品展を拝見。久宝寺寺内町の東の入り口では、講師から堀と土塁をめぐらし防備を固めた戦略上の町であると詳しい説明を受けた。

久宝寺まちなみセンターで昼食休憩後、講師による寺内町の講義を受ける。久宝寺御坊顕証寺の歴史的解説はワクワクする面白さだった。顕証寺は二度も本願寺に門跡を出した格別な寺院であった、など驚くばかりのお話であった。

質疑応答には、沢山の質問者があり、しっかりと予備知識を持って古墳や寺院の歴史等に関

する質問に誠意ある講師の応答がなされ、造詣の深さに脱帽した。司会者がマイクを片手に動きまわる状態となり、最後に「質問は後一つ」と制限する程であり、校友諸氏が卒業しても「関大」を誇りに、充実した人生を過ごしていることを垣間見ることが出来た充実した楽しい一時であった。「良かったネ」「楽しかった」と感想を語り合いながら寺内町を自由散策する幸せな時間を味わった一日であった。(副支部長 南野佳子 (中尾達夫) 072-998-3526)

伊勢神宮バスツアーに46人 25回目で最高の参加者

守口支部(平井治支部長)の事業として定着した親睦バスツアー。3月11日には、日本人の心のふるさと伊勢神宮を参拝した。平井支部長、澤井良一守口市議会議員夫妻など46人が参加。バスツアーは平成17年から始めて25回目を迎えたが、今回は過去最多の参加人数だった。

まずは、古代からの習わしに則り外宮から参拝し、次に内宮へ向かった。内宮では、神職をされているお隣り門真支部の西川亮彦幹事長にお骨折りをいただき、厳肅なる御垣内参拝をさせていただいた。また、神楽殿に上がって典雅な御神楽奉納も

ビルメンテナンス業界初のISO-9001, ISO-14001, OHSAS-18001 三規格認証取得企業として、「作業品質&マナー」・「環境」・「安全」の向上を通じ、オーナー様・ユーザー様からの信頼に応えます。

株式会社 大阪ビルサービス

〒540-0012 大阪市中央区谷町二丁目4-5 Tel 06(6941)3306 E-Mail info@obsf.co.jp



ISO- 9001



ISO-14001



OHSAS-18001





鑑賞した。

昼食は、宇治橋に程近い岩戸屋でとり、昼食後、おかげ横丁を自由散策した。次に、内宮の別宮である瀧原宮に向かった。外宮・内宮とは違い、ここ瀧原宮は訪れる人も比較的少なく、杉の巨樹が林立する深い杜の中にひっそり佇んでいた。森厳な空気を満喫しながら、神前で深い祈りを捧げてきた。

旅の仕上げは、恒例の温泉。昔の小学校の校舎をそのまま利用した入浴施設「阿蘇温泉」で旅の汗を流したあと、帰りのバスの中でビンゴゲームを楽しみ、無事守口市へ帰った。

（副支部長 山本護
（篠原勝）06―6998―5115）

再開第2回の総会開く 校友の絆で支部発展を

天王寺支部（北原正浩支部



長では、再開第2回の総会を2月17日、上本町近鉄の銀座アスターで開催した。

谷幹事長の司会で総会を開始。北原支部長が、昨年、市内支部連合の故社会長ほか関係者の尽力により再開第1回が開催され、本年も引き続き開催することができたことにお礼の言葉を述べると共に、今後は支部校友の「絆」で持つ伝統ある天王寺支部を発展させていきたいと決意を述べた。

小西顧問から、羽賀初代支部長、山田関西大学顧問、吉田元四天王寺管長ほか歴代支部長など多くの校友が築いてこられた天王寺支部の歴史について、詳しく話していただいた。

来賓紹介の後、古川校友副会長から大学の近況報告、山田顧問から再開に尽力頂いた各位にお礼の言葉と、新役員に対し

支部総会の継続を希望する挨拶があった。

前田中央支部顧問の乾杯の発声で懇親会に移った。会もなかばに北原支部長から、昨年大阪市内支部連合のゴルフコンペで良原校友が個人優勝され、支部は2位と健闘したと報告があった。続いて校友のユーモアにあふれた自己紹介で、会場からはあちらこちらで笑い声が上がリ、盛り上がった。

最後に行方正行校友の閉会の挨拶に続き、児島校友のリードで逍遙歌を歌い、北原支部長が差し入れされた山本校友経営の昌月堂謹製の関西大学校章入り紅白饅頭をお土産に散会した。

（北原正浩）06―6771―9789）

禁煙成功の報告など続く 出席者全員がスピーチ

3月7日、ボンズ今福鶴見店で鶴見支部（徳野豊支部長）定例役員会を開く。徳野支部長が、今年の総会は6月30日に都島支部との合同総会になると報告。スプリングフェスティバル鶴見支部のプログラムは、軽音楽カントリーバンド、紙芝居クイズ、ビンゴゲームなど。支部会員への連絡費用に充てるための協賛広告を募集したところ即座に8人11口・5万5千円が現



金で集まった。早速チーム4人が作業日程を決めていた。

全員のショート・スピーチタイムでは、禁煙成功者の報告が続き、健康なメンバーの多いことを喜び合った。ゴルフの話題では中学の孫の活躍に期待している熱の入ったスピーチや最愛の奥様が認知症のため、愛情深い介護にあたっているメンバーの話も印象深かった。

後半はお楽しみの鶴見形式のビンゴゲーム。今回の景品は、お米あきたこまちから大根一本まで。なんと大根をゲットした大先輩はあの映画「第三の男」をしゃれて、大根の男やで。会には高野副支部長の大阪締めで明るくお開き、もう次の楽しい役員会が今から楽しみですとの声に送られてバイバイ。

（幹事長 迫 匡
（徳野豊）06―6912―9357）

朝赤龍などの猛稽古見学 別室で「ちゃんこ」馳走に

大阪中央支部（伊藤晃充支部長）では、大阪場所も近づく3月3日、中央区谷町に高砂部屋（宿舎、久成寺を訪問した。

表門の高砂部屋と書かれた看板の前で記念撮影。「ちゃんこ」を作っている最中の台所を見学した後、いよいよ朝稽古中の稽古場へ。通常は一般の見学席からの見学だが、ご厚意で我々は土俵の間際からの見学。すぐ手の届くところで、朝赤龍ほか、力士たちの猛稽古を見ることができた。やはりテレビで見るとは、迫力が全然違う。

関大校友「結婚」の橋渡し

申込金 12,000円 月会費不要

- ☆申込資格・校友会員およびその子弟、校友会員の責任ある紹介を受けた人
- ☆相談日と相談時間 毎月第1・第3土曜日 午後1時～4時
（但し受付は3時30分まで。1月第1、8月第1・第3土曜日はお休み）
- ☆場所 関西大学天六キャンパス

関西大学女子秀麗会
結婚相談所

URARA

■お問い合わせ
仁井ひろみ方 TEL (06) 6925-1821
●ホームページ（詳細はこちらで）
関西大学女子秀麗会で検索



しばらくして、元朝潮の高砂親方が登場、どっかりと腰かけて弟子達を指導している姿も見る事ができた。

稽古場見学の後は、別室で「ちゃんこ」を馳走に、少しにんにく風味で、なかなか美味。ビールのつまみにさきほじ台所で焼かれていた卵焼きも頂き、大満足。全員が少し相撲通になったような一日であった。

(広報部 矢野茂
(伊藤晃充 0743-71-2285)

今後の北朝鮮について 李英和教授が講演

大阪市内支部連合会(田中義信会長)役員総会が2月22日、ホテルニューオータニ大阪で寺内校友会長、上原理事長、楠見学長らを来賓に迎え、11



6人が出席して開催された。

第1部総会では、田中会長を議長に議案審議が行われ、伊藤副会長による事業報告、同計画、高木会計の会計報告、福島監事の会計監査で、すべての議事が承認された。

第2部講演会では、テレビでもお馴染みの李英和経済学部教授から、今後の北朝鮮について大変興味深い話を聞かせて頂いた。

第3部は木原富美子氏の司会で進行。来賓挨拶の後、懇親会がスタート。アトラクションとして口笛の第一人者、李雅章氏の素晴らしい口笛にしばし聞き入った。各テーブルでは、各支部の活動や懐かしい学生時代の話などで談笑。大いに盛り上がるなか、全員が肩を組んで逍遙歌の大合唱。前田顧問の大阪締めめ、米谷副会長の閉会の辞でお開きとなった。

(大阪中央支部 矢野茂

OB25人・監督コーチ4人 現役は団体107人表彰

3月17日、千里山キャンパス千里ホールに、上原理事長、池内専務理事、寺内校友会長を来賓に迎え、23年度体育OB会(小坂道一会長)総会が開催された。

第1部の総会では、小笹副会長の開会の辞で始まり、小坂会長が議長となり議事が審議され全て承認された。

第2部のOB、現役表彰に移り、来賓の上原理事長、寺内校友会長から挨拶をいただいたあと、OB表彰、監督・コーチ表彰、現役表彰が行われた。

来賓として法人、教学の役員、校友会、教育後援会、友好大学の関西学院、同志社、立命館のスポーツ関係のOB、友好団体のスポーツマンクラブ、応援団OB千成会、応援団OB長柄会から出席をいただいた。

小坂会長の開会挨拶、来賓を代表して楠見学長、渡辺関学体育会同窓倶楽部会長にご挨拶をいただき、池内専務理事の乾杯で懇親会が始まった。

懇親会の後半には、顧問を退任された北嶋先生(自動車部)、杉本先生(バスケットボール部)に花束を、昨年逝去された橋本重量拳部前監督(元体育OB会常任理事)に対し、花と記念品

ご良縁 成婚率の高さが決め手

手づくり100%のお世話

コンピューターを一切使わず、すべて手づくり100%の誠実なマンツーマンシステムです。また、ご家庭環境、お人柄等バランスのとれたご紹介を重視し、無駄のないお出会いを実施しています。ご成婚重視のため、他社との連携は一切いたしておりません。国公立大学・有名私立大学ご出身のご成婚者が大勢いらっしゃいます。

エムロードはここが違います

1 成婚率の高さ

無駄なお見合いを省いた成婚重視の手づくり100%の行き届いたシステム。

2 質の高い会員層

国公立・有名私立大卒が中心。

3 同一アドバイザーによる一貫したお世話

ご入会からご成婚まで、同一のアドバイザーが担当。

4 自社会員のみ構成

成婚率の高さの維持とプライバシーの保護の為に他社との提携は一切なし。

5 格式あるお見合いパーティー

帝国ホテル・リッツカールトン等、一流ホテルでの会員様だけの集い。

6 安心の均一料金システム

どの大学ご出身者も、すべて平等。成婚重視の安心料金システム。



お問い合わせセンター [大阪・神戸・京都] 携帯・WEBからも エムロード 結婚 検索

0120-4122-46 営業時間 / 10:00~18:30 定休日 / 水曜日

●ドクターズコース
●一般コース
●シニアコース 有

資料請求
無料

株式会社 エムロード®

大阪 大阪市北区茶屋町8-21-3101 (NU茶屋町プラス最上階) 神戸 神戸市中央区御幸通8-1-6 神戸国際会館19F 京都 京都市下京区室町通綾小路ル上ル鶴鈴町480 オフィス・ワン四条烏丸6F

「文化フェス」に参加 27団体が活動成果発表

4月16～28日、文化会27団体が日々の活動成果を発表する「文化フェスティバル」(川北航平実行委員長)が開かれ、文化会OB会筆文会(中瀬和夫会長)では会長他3人が参加した。この文化フェスティバルは、今年で27回目となる。今回は「明日にきらめけ文化会27」あの太陽に向かって走れ!」から始まる僕らのオレンジデイズ

時間お押し迫り、花岡達也応援団第90代団長の指揮のもとで逍遙歌、海蔵寺会長代行の閉会の辞で総会の幕を閉じた。
(西田幸弘)
(近藤正昭) 06-6935-5545



〜というテーマ。



筆者が参加した20日は、和のコーポレーションと銘打った吟詩部・茶道部・能楽部・邦楽部・落語大学が一堂に集まり合同発表を行うものであった。凜風館1階で昼時間に開催され、会場いっぱいの人だった。大型スクリーンには、文化会全団体がCMを通して、日々の活動が映し出されていた。

文化会各部の皆さんには今後益々の活躍を期待したいと思えます。
(幹事長 三坂友章)
(三坂友章) 090-5158-7259

中野寛成元国務相が講演 災害対策の実態を聴く

政治学会(北川均会長)の第28回総会は、2月25日、肥後橋・徐園で開催され、本部の古川副会長らを迎えて、総員33人が出席した。



総会では、北川会長が、「大学院当時での恩師岩崎先生の思い出」をじっくりと語り、会長挨拶にされた。また古川副会長は、母校の近況を人試・文武の実感を、計数で報告。分けても、校友会活動は、他大学の追随を遥かに越えていると紹介があった。総会議事は、会務・会計の承認。ついで本部への組織登録の各案件が、満場一致承認された。
記念講演は、中野寛成校友(38法)から、東日本大震災の発生時に、時の国務大臣として治安維持に陣頭に立った、息を飲む実体験を語られて、危機管理の重要性を再認識した。
懇親会は、篠原・藤井の大先輩をはじめ、三木・河合(光)の旧役員も、元気なお姿で会席に加わり、政治学会の歴史の重さ、人材の豊富さを再確認した会合となった。(藤本道人)

梓に止まらぬ発想と情熱 松口社長が企業理念講演

第6回年輪関大会(朝倉満会長)は、2月28日に新阪急ホテルで開催された。大阪中小企業投資育成の会員企業で、関大卒のオーナーで構成する年輪関大会は、現在40社。今回は20社の出席があり、来賓共に24人の出席者であった。

今回は、当会の会員であり、「貼る」「包む」「魅せる」の機能でシル印刷のリーディングカンパニーでもある、大阪シーリング印刷(株)の松口正社長(57学工)に、独創・誠実・情熱の企業理念を基に1千億円企業を目指して、印刷の梓にとどまらない発想と情熱で未来を切り拓いて行く講演をして頂いた。我々企業人にとって有意義な話であり、みな感銘を新たにしたい。

続いて、今回は大学の就職活動をサポートするキャリアセンタの中山均事務長に、就職状況の現状をお聞きした。その中では、学生に中小企業にも目を向けるようにと語られていた。

また、田中久仁雄校友会プロデューサーと松井由樹産学官連携コーディネーターに、その後の報告をして頂いた。特に校友会機関紙の中で田中プロデューサー執筆の「関西大学校友会産学サークルの構築を目指して」

Vietnam Headline News

企業経営者・担当者・留学志望学生

必見

<http://www.n-liner.jp/>



ベトナム主要紙の情報を翻訳した
日本で唯一のベトナム総合情報紙



創近
刊日

卒業生の皆さま
在校生の皆さま

ご支援
お願いします

携帯電話・スマートフォン

▼こちらから▼



発行元: News Liner

お問い合わせ: inquiry@n-liner.jp



には、当会のメンバーが毎号掲載されており、嬉しい限りだ。
一軸浩幸当会オブザーバーの乾杯の発声で懇親会に入り、初参加の方々のユニークな自己紹介等もあり、会社での立場を忘れ、学生時代に戻ったような雰囲気であった。
(朝倉 満)

**歳も増え 薬も増えた
司法書士が「遺言のすすめ」**
何かにつけユニークな会員の多い神戸三九会、毎年3月9日(総会)と9月3日(定例会)の年2回懇親会を開催しているが、両日ともに誕生日の者がいるというのもこれまた奇遇。
今年の総会は、ニューミューン神戸大使館にて開催、18人の出席があり盛会裡に終了。会員で司法書士でもある大野雅弘君より「遺言のすすめ」について



のレクチャーを受け会員一同熟考。
まだまだ現役もいるが、減っても増えない同期会。そろそろ準会員でもある奥さんの出席を考えねばならないかなあ。
「親のため つけた手摺りに 助けられ」
(石山 康弘)

**総勢90人がマルビルに
創部60周年パーティ**
書道部創部60周年記念パーティが、大阪マルビル6階・第一ホールで4月8日に開催された。来賓は、大学から上原理理事長、黒田勇副学長、笹倉学生センター所長と田中校友会副会長の錚々たる4人。永世顧問御令室の大庭弘子様他2人、西川和男顧問、OB・OG 60人、現役22人、併せて90人という大勢の皆さまに参加いただいた。会場の都合で記念撮影から先に行っ

た。
開会のことは、学歌斉唱、主将・顧問挨拶の後、来賓が紹介され、真砂記念行事実行委員長が挨拶をした。
上原理理事長と黒田副学長の来賓挨拶の後、田中校友会副会長に乾杯をお願いした。ワインでの乾杯は洒落ていて人気があった。北陸、東京、静岡、岐阜など遠方より多数お越しいただき、卒業以来初めてお会いした方、仲間の体形や頭髪の変化に驚き、学生時代の懐かしい話に花が咲き、あつという間の3時間だった。最後デザートに大きなケーキの差し入れがあり盛り上がった。逍遙歌斉唱、万歳三唱、閉会の言葉で無事終わった。
お開きになってからも、会場内のあちらこちらで団らんが続いており、遅くまで同期会、二次会が続いたと聞いている。
(野尻悦三)

**同窓生意識ですぐ打解け
OB・現役32人が集う**
4月21日に100周年記念会館・レストラン紫紺で開催した心理学教育学研究部懇親会も今回で4回目を迎えることができた。千葉、神奈川、静岡、福井、岡山などからも参加があり、卒業生29人、現役生3人の総勢32人の出席であった。



卒業以来、初めて来学のOBもおられ、ダイナミックに変貌する学園に感動・驚嘆されていた。

年齢差のある出席者同士も、心理研の同窓生という事で、すぐに打ち解けて、各自の近況報告や、在部時代のエピソード等を出席者一同、我が事のように聞き入っていた。

また、現役部員からは現状の研究テーマの紹介があり、現役部員の研究活動へのささやかな援助として、出席のOB・OGからはカンパが寄せられた。

最後に、学歌・逍遙歌を斉唱し、名残を惜しみつつ、次回の再開を約束して散会した。
次回の開催日は、未定です



桜の下17人が腕競う 春季ゴルフ親睦会開催

神奈川支部(重延義樹支部

お母さまへ

**主婦がコツコツと手造りで
ご良家のご縁結びをしています。**

高槻の隣り町
島本町

TEL.075-961-7405

吉川 味与子
(関西大学卒業生の妻)

が、継続して行う事を今回出席の方々が希望しておられます。消息の分からない方がおられます。今回の懇親会の案内状が未着の方は、ご連絡をお願いいたします。次回は開催案内を送らせて頂きます。
(幹事 大下正二)
(大下正二) 06-6576-0609
メール shouchi-ohshita@cocoa.ne.jp

長の春季ゴルフ親睦会KUKCUP(第28回)が、4月10日に大厚木CCで開催され、17人が腕を競い、すばらしい桜を愛ながら親睦を深めた。

支部長杯コンペに24人 桜満開の青山台GCで

4月17日、第29回河西支部
支部長杯ゴルフコンペが、青山
台GCで猪名川、池田、箕面支
部から7人の参加をいただき、
総勢24人にて賑やかに楽しく開
催した。

秋季は、千葉、埼玉、神奈川
の3支部合同のコンペが企画さ
れている旨を世話役・藤本國士
(42経) 副支部長から発表があ
り、次回にも期待に胸を膨らま
せつつ帰路に着いた。

(広報・世話役 田中潤一・56
工)



悪天候の中全員が健闘 優勝は大倉前委員長

吹田支部(奥谷英夫支部長
では、第41回親睦ゴルフ大会を
4月22日にオレンジシガカント
リークラブで開催した。
今回は、藤原輝之氏がゴルフ

次回・秋開催は、第30記念ゴ
ルフ大会を予定しています。多
数の参加をお待ちしています。
(ゴルフ代表幹事 山下清恵)

ここ篠山の地は、桜が満開で
参加者全員を温かく歓迎してく
れ、18ホールを堪能した。
クラブハウス内での表彰式と
懇親会に移り、優勝はダブルペ
リアで参加した池田支部の水本
武氏、準優勝は初参加の名川泰
二氏、3位は桜井俊夫氏だっ
た。また、懇親会では初参加者
の自己紹介やプレートの反省、ま
た、雑談などの楽しい会話に花
が咲いた。



委員長に就任して初の大会。初
参加者2人を含む15人が参加。
あいにくの雨風、そして寒さと
いう最悪のコンディションだっ
たが、全員真剣に最後までプレ
ーした。
お風呂で身体を温め、コンペ
ルームで表彰式を開催。「実は
私、雨男でどうなるか心配だっ
たんですが、全員、無事ホール
アウトできホッとしています」
との藤原委員長の挨拶のあと、
入賞者のスピーチでも「思い出
に残るプレーになりました」と
の感想が述べられた。
優勝は前ゴルフ委員長の大倉
幾三郎氏、準優勝は小上廣之
氏、3位は藤原委員長という結
果だった。
今回は秋に開催予定です。初
参加の方も大歓迎です。是非
ご参加ください。フェイスブッ
クをされている方は、関西大学
校友会吹田支部の公式フェイス
ブックページからも日程等をご
覧いただけます。



名門茨木CCで春コンペ 優勝は前回に続き大川氏

経済人クラブ(西村太一会長
春のゴルフコンペが、名門茨木
カンツリー倶楽部で3月28日に
初参加を含む16人で開催され
た。

昨年に全面リニューアルされ
た西コースは、距離もあり、絶
妙な位置に設置されたハザード、
難しいピンポジションに参加者
の多くが苦しめられたが、優
勝・ベスグロは前回に引き続き
大川高史氏、2位は秋葉明氏、
3位は西野修氏であった。

大倉幾三郎ゴルフ部会会長の
進行で表彰式が行われ、参加者
はゴルフを通じて交流を図り、
楽しいゴルフコンペになった。
なお、今回の様子はホームページ
にも掲載されている。



(副幹事長 渡邊善孝
(日隆産業・谷康司) 06-63
29-4424)

血糖299が2カ月で94に!ヘモグロビンA1Cも11.5が6.9に!

糖尿病に燕子掌

ヘモグロビンA1C値の
改善にお役立て下さい。
「お薬、食事、運動など
今まで何を試しても下
がらなかったA1C値...」
今回、やっと下げるモノ
が見つかりました!と、
多くの方にお喜び戴い
ている特許新成分です。
▼この漢方・燕子掌の詳
しい資料・改善データを
無料でお送りいたします。
特許番号第2535674号
0120(090)358
ヘルスケア研究所

資料無料送付

燕子掌
180粒 18,900円(税込)
糖尿110番 検索

良縁お世話致します

婚活(結婚活動)は、早ければ早いほど有利です!
関大生割引あり 一度お電話ください。

ブライダル ナカノ
TEL 06-6702-8624
ホームページ
http://www.bridal-nakano.com/index.htm
●関西大学卒業生(商87) 中野友美子

MESA 経済産業大臣認定個人情報保護団体
結婚相談業サポート協会会員

Bridal NAKANO

(<http://ku-keizaijinclub.jp/index.php>)

今回は9月12日に、茨木カンツリー倶楽部西コースで開催予定。皆さまの参加をお待ちしております。

(副代表幹事 村上康司)

日和に恵まれ楽しくプレイ
今回は10月17日花屋敷で

第45回二九千里会(高橋一夫会長)コンペは3月21日、ABCゴルフ倶楽部で開催された。

朝は肌寒く感じられたが日中は日照もあり、暖かい日和に恵まれプレイを楽しんだ。成績は優勝河合義雄(経)、準優勝とベストクロス松井勇(家)、3位



関西大学初等部著
「関大初等部式 思考力育成法
めざせ!考える達人」

さくら社 刊

定価1700円+税

2010年4月に、関西大学の初めての小学校として誕

山本雅男(商)が獲得した

次回10月17日(水)花屋敷ひろのコースでの再会を約し散会した。

(目高由雄)

(高橋一夫) 0797-86-618



生じた関西大学初等部では、大学の学是として掲げられている「学の実化」を受け、初・中・高の一貫教育を通じ、「確かな学力」「国際理解力」「健やかな体」「情感豊かな心」を育み、「高い人間力」を持った子どもを育てることを目標としている。

校友短信

◇茨木市長に木本保平氏が初当選 任期満了に伴う茨木市長選挙は、4月8日投票開票され、無所属新人で前市議の木本保平氏(きもと・やすひら)昭42学文新)が初当選を飾った。

野村宣一市長(昭40学法)の引退を受けて新人4人の闘いとなったが、木本氏は大阪維新の会から支部レベルの推薦を受けて激戦を制した。



木本氏は、昭和46年4月に茨木市議会議員に初当選以来、

11期市議会議員を務め、その間3回議長を務めている。67歳。

◇上新電機社長に中嶋克彦氏就任 6月28日付。中嶋克彦氏(なかじま・かつひ

こ 昭51学法)は、昭和51年上新電機入社。平成4年大塚商会に移り、平成8年取締役、12年常務取締役。22年10月から上新電機顧問。59歳。

◇セキスイハイム東北社長に神吉利幸氏就任 4月1日付。神吉利幸氏(かみよし・としゆき)昭54一高・58学法)は、昭和58年積水化学工業入社。平成21年セキスイハイム東北取締役、23年常務。51歳。

◇さいたま地検検事正に大仲土和氏就任 4月10日付。大仲土和氏(おおなか・つちかず)昭48学法)は、昭和57年4月任検事・大阪地検。その後、各地の地検検事、総務部長、次席検事等を経て、平成21年1月大分地検検事正、22年4月岡山地検検事正、23年8月最高検検事、同月11日付で総務部長。62歳。

その中の「確かな学力」については「思考力の育成」を最重点課題に据え、学習面のみならず、生活面でも自ら主体的に考えることで積極的に社会の問題を追究し、解決するための行動をおこす子どもの育成をめざしている。

そのために、「考えることを考える」学習、知識を活用するための「思考スキル」を習得する学習を「ミューズ学習」と名付け、全ての教科等の学習にも活かせるよう取り組みを進めてきた。



毎日

スタート&ダッシュ

あらゆる印刷に、全速・全力でお応えします。

お客様のご要望にお応えすべく、
確かな技術の中から
最適のご提案をすることで事業のお役に立つ。
お届けするのは、印刷ソリューション。
そのために、情報も対応も、より速く的確に。
いつも全力で、毎日スタート&ダッシュ!
私たちは東洋紙業です。

印刷で人と時代をコミュニケーションする
東洋紙業株式会社

大阪本社: 〒556-8555 大阪市浪速区芦原1-3-18 ☎(06)6567-2111
東京本社: 〒140-8670 東京都品川区南品川6-1-5 ☎(03)3450-2111

www.toyo-s.co.jp

に研究発表会を開催し、本校の実践・研究内容を発信することで、広くご意見・ご示唆をいただいているところである。

昨年度2月4日に開催した第2回の研究発表会においては、初等部が取り組む「思考力育成」のカリキュラム提案として、『関大初等部式思考力育成法―めざせ！考える達人―』を発行し、全国に向けて関西大学初等部の考え方を示した。ぜひ、ご一読いただきたい。

初等部校長 田中明文

永田憲史（法学部准教授 著

『わかりやすい

刑罰のはなし

―死刑・懲役・罰金―

関西大学出版部 刊

定価1575円（税込）



本書は「刑罰のはなし」と題するが、刑罰そのものだけではなく、日本の刑事制度の重要な部分について広く基本

的な知識を提供する書物である。全体が4章構成で、それぞれが独立した内容になっているので、関心のある章から読み始めてもよいだろう。

1章「刑罰を言い渡す手続きのはなし」では、日本の刑事手続の主な内容や裁判傍聴のヒントを知ることができる。2章「死刑のはなし」は、日本の裁判で死刑が言い渡される基準や、無期懲役の運用の実情など、潜在的な裁判員候補者にとって関心のある事項が紹介されている。死刑の選択基準を被害者の人数で表すと、他の事情が平均的なら「2・5人の殺害」に相当する、との説明は著者の工夫の産物であり、直観的にわかりやすい。実は、本章の内容は著者の専門的な研究を背景とし、学術的価値も極めて高いものである。さらに詳しく勉強したい方は、著者の論文集『死刑選択基準の研究』（2010）を参照されるとよいだろう。3章「懲役のはなし」では、裁判員裁判で言い渡されることの最も多い刑罰である懲役が、実際のところどのように運営されているかを、興味深く示している。4章「罰金のはなし」は、一般の人が科される可能性の最も高い刑罰である罰金の制度につい

て解説している。

新書のような感覚で読むことができ、裁判員になるかもしれない一般市民や、法学部・法科大学院でこれから勉

強しようという学生、留学生にも役立つ一冊である。

（京都在野大学法学部准教授 高山佳奈子

お悔み申し上げます

（敬称略）

鳥飼黎明（とりかい・れいめい）昭30学経、元西宮市議会議員 平成23年7月29日死去 82歳 西宮市
下野大七（しものだいしち）昭16専2国 8月30日死去 92歳 寝屋川市
福田公夫（ふくだ・きみお）昭27学経、極東代表取締役社長 12月9日死去 84歳 尼崎市
國本幸四郎（くにもと・こうしろう）昭26専1経 平成24年1月8日死去 82歳 神戸市
古橋友次（ふるはし・ともじ）昭18専2経 1月29日死去 89歳 大阪市
武田英司（たけだ・えいじ）旧姓・高林、昭16大予2・18大経 2月10日死去 89歳 奈良市
野崎敏夫（のさき・としお）昭26学法、校友会代議員、学部26年会副幹事長 2月24日死去 84歳 吹田市
羽田栄一（はだ・えいいち）昭16専1商 2月27日死去 92歳 佐世保市
中江秀實（なかえ・ひでみ）昭14専2商 3月7日死去 97歳 神戸市

小橋友明（こはし・ともあき）昭19専2経、枚方支部相談役 3月12日死去 88歳 枚方市
丸山勝茂（まるやま・かつしげ）昭56学商、関西大学キャリアセンター1事務局次長 3月16日死去 53歳 宝塚市
福永利一（ふくなが・としかず）昭28学経、元校友会常議員、元吹田支部幹事長 3月17日死去 82歳 奈良市
宮川龍太郎（みやがわ・りょうたろう）昭32学文新、元近鉄興業取締役・近鉄劇場支配人、元岸和田市文化財団理事 3月17日死去 80歳 岸和田市
仲 實（なか・みのる）昭9大予・12大法 3月25日死去 98歳 富田林市
青山吾郎（あおやま・ごろう）昭45学経、元柏原市役所勤務、応援団OB長柄会参与、校友会代議員 3月29日死去 64歳 富田林市
峰本方幸（みねもと・まさゆき）昭38一高・43学工電、ジェイエフティ代表取締役、元校友会代議員 4月12日死去 67歳 池田市
伊丹啓次（いたみ・けいじ）昭4専法、伊丹ビル代表取締役、元豊中市議会議員、元豊中市部顧問、元校友会代議員 4月19日死去 106歳 豊中市

窓を考える会社 YKK AP

YKK AP株式会社 ビル建材第一事業部 大阪支店
大阪府大阪市中央区谷町4-8-7 TEL 06-6947-4141 www.ykkap.co.jp

「くらしと水」の接点を支えています

暮らしになくてはならない水――
タブチは、安全で快適な
給水用具の創造で
人々の暮らしを支えています

ホームページは [タブチ](#) [検索](#)

給水用具の設計・開発・製造

株式会社 タブチ

〒547-0023 大阪市平野区瓜破南2丁目1番56号
TEL 06-6708-0150 (代) FAX 06-6708-0210

【本部関係】

- ▷ 第28回支部対抗親睦ゴルフ大会 5月15日(火) 天野山カントリークラブ
- ▷ 第99回定時代議員会 6月9日(土) 午後1時 千里山キャンパス・100周年記念会館
- ▷ 平成24年度全国組織代表者会議 7月7日(土) 午後1時 千里山キャンパス・100周年記念会館(参加者は地域支部に限定、分科会討議)
- ▷ 天神祭船渡御奉拝船「関大丸」就航 7月25日(水) 午後5時 大川
- ▷ 平成24年度校友総会 10月21日(日) 午後0時半 千里山キャンパス・BIGホール100 議題=任期満了による代議員の改選について
- ▷ 若手校友落語家支援「関大寄席」 10月28日(日) 午前9時半 天満天神繁昌亭

【地域支部】

- ▷ 和泉支部総会 6月2日(土) 午前11時半 場所未定(山本邦夫=0725-57-2761)
- ▷ 九州・沖縄、広島、山口支部対抗ゴルフ大会・懇親会 6月2日(土) 熊本空港カントリークラブ(熊本支部長・野々口瑞穂=096-384-3223)
- ▷ 福島支部総会 6月16日(土) 午後6時 ホテル阪神・12F(宮腰健次=06-6453-0519)
- ▷ 八尾支部総会 6月17日(日) 午前10時半 八尾文化会館・プリズムホール(中尾達夫=072-998-3526)
- ▷ 氷上支部再建総会 6月17日(日) 午前11時 柏原駅前・喜作(谷垣敏一=0795-82-2521)
- ▷ 豊能支部総会 6月17日(日) 午前11時 妙見口・かめたに本店(小林宣博=072-738-7473)
- ▷ 北支部総会 6月22日(金) 午後6時 ハービス大阪6階・ガーデンシティクラブ大阪(8千円、女性・20歳代6千円。ゲストは本号「きらっ人校友録」登壇のジャズボーカリスト五十嵐あきこさん。市田事務所・市田利夫=06-6375-1336)
- ▷ 神戸支部総会・懇親会 6月22日(金) 午後6時半 ホテルオークラ神戸(昭卒1万円、平1~19卒8千円、平20~24卒5千円。東光商会FAX=078-453-2171、ku1986@nifty.com)
- ▷ 堺支部総会 6月23日(土) 午後4時 リーガロイヤルホテル堺(鍋島均=072-284-1412)
- ▷ 東淀川支部総会 6月23日(土) 午後5時 ホテルコンソルト新大阪(8千円。岡田=090-8822-1771)
- ▷ 城東支部総会 6月23日(土) 午後6時 大阪キャッスルホテル・錦城閣(6千円。近藤正昭=06-6935-5545)
- ▷ 東大阪支部総会 6月23日(土) 午後6時半 ホテルアウィーナ大阪(岩崎事務所・岩崎英夫=072-966-0111)
- ▷ 摂津支部総会 6月23日(土) 午後6時半 摂津市立コミュニティプラザ(エイブル・阿部賞久=072-657-9891)
- ▷ 和歌山支部総会 6月24日(日) 午前11時 ダイワロイネットホテル和歌山(長谷川冷機・赤井雅哉=073-436-2125)
- ▷ 鶴見・都島支部合同総会 6月30日(土) 午後6時 大阪キャッスルホテル・錦城閣(鶴見・追匡=06-6961-7363、都島・香西安勝=06-7652-9703)
- ▷ 泉大津支部創立50周年記念総会 7月1日(日) 時間未定 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津(深井亀治=0725-56-1226)
- ▷ 豊中支部総会 7月7日(土) 午後5時 千里阪急ホテル(横畠正秀=06-6331-2275)
- ▷ 岡山支部総会 7月7日(土) 午後5時半 メルパルク岡山(ユアーズコンサルティング=086-250-5592)
- ▷ 京都支部総会 7月7日(土) 午後6時 リーガロイヤルホテル京都(大西康治=075-691-3513)
- ▷ 富田林支部総会 7月15日(日) 午前10時半 富田林市民会館(野島努=0721-23-3190)
- ▷ 伊丹支部総会 7月20日(金) 午後6時 伊丹市産業・情報

- センター6階(5千円。ヒラク・加藤拓=072-785-5507)
- ▷ 富山県支部総会 7月28日(土) 午前11時半 JR富山駅北・オークスカナルパークホテル富山(高橋正=076-475-5726)
- ▷ 香川支部総会 7月28日(土) 午後4時半 全日空ホテルクレメント高松(金星タクシー・川崎有=087-821-7070)
- ▷ 北九州支部総会 7月28日(土) 午後6時半 リーガロイヤルホテル小倉(7千円、女性・平成20年以降卒3千500円。西原正人=093-771-5209)
- ▷ 福岡千里会創立90周年記念総会 8月4日(土) 午後6時 グランドハイアット福岡(7千円、女子校友4千円。新卒・現役無料。安藤造園土木・白木成光=092-841-4141)
- ▷ 茨木支部総会 8月9日(木) 午後6時半 場所未定(別處に一=072-634-6613)
- ▷ 熊本県支部総会 8月11日(土) 午後7時 熊本ホテルキャッスル(野々口瑞穂=096-384-3223)
- ▷ 佐賀千里会総会 8月19日(日) 午前11時半 櫛庵路(ろあじ)(6千円。松永久光=0952-53-2190)
- ▷ 宮崎千里会総会 8月25日(土) 午後6時半 場所未定(前村幸夫=0985-28-2232)
- ▷ 愛知支部総会 9月7日(金) 午後6時 名古屋観光ホテル(知多工業・森田敏二三=0562-33-5822)
- ▷ 明石関大クラブ総会 9月8日(土) 午後5時半 JR明石駅北・グリーンヒルホテル明石(ふじもと法律事務所=078-917-7481)
- ▷ 吹田支部総会 9月22日(土) 午後2時 メイシアター(日隆産業・谷康司=06-6329-4424)

【職域会ほか団体】

- ▷ 関大大阪倶楽部春の総会 6月2日(土) 午前9時 太融寺北出発(平清盛歴史館→舞子ビラ神戸→須磨海浜水族館)(校友会事務局=06-6368-0041)
- ▷ イエローサブマリンテニスクラブ35周年記念総会 6月2日(土) 午後6時半 関大前・串松(潤井寛=090-2117-8193)
- ▷ 天六同友会・応援団OB長柄会・スポーツマンクラブ3部合同ゴルフコンペ 6月7日(木) 午前8時 愛宕原ゴルフ倶楽部(天六同友会・寺岡源司=06-6954-9788)
- ▷ 学部27年卒業60周年記念総会 6月12日(火) 午前11時 大阪新阪急ホテル(畑下公認会計士事務所・畑下辰典=06-6773-3871)
- ▷ 土木工学88入学生同窓会 6月16日(土) 午前10時 校友・父母会館、校友会会議室
- ▷ 天六同友会総会 6月16日(土) 午後3時半 シティプラザ大阪(寺岡源司=06-6954-9788)
- ▷ 経済人クラブ第195回例会 6月25日(月) 午後6時 大阪新阪急ホテル・花の間(校友会事務局=06-6368-0041)
- ▷ 葦文会総会 6月30日(土) 午前11時半 校友・父母会館、校友会会議室(三坂友章=0797-85-8031)
- ▷ 博修士会総会・講演会 7月1日(日) 午前11時 ホテル阪神(システム理工学部専任講師 緒方正則=06-6368-1121)
- ▷ 女子秀麗会総会・講演会 7月1日(日) 午前11時 ホテル阪神(仁井ひろみ=06-6922-6806)
- ▷ スポーツマンクラブ七夕総会 7月7日(土) 午後7時 場所未定(関西船用=06-6572-1021)
- ▷ 司法書士関大会合格祝賀会 7月14日(土) 午後6時 大阪キャッスルホテル(中村博司法書士事務所=06-6705-5678)
- ▷ 自動車関大会総会 7月18日(水) 午後6時45分 ホテル大阪ベイタワー(大阪トヨタ自動車・中野吾一=06-6451-6853)
- ▷ 経済人クラブ第196回特別例会 7月21日(土) 午後4時 神戸酒心館(校友会事務局=067-6368-0041)
- ▷ 廣田君美先生の「米寿」を祝う会 8月26日(日) 正午 ホテルグランヴィア京都(1万円。大阪国際大学・山野晃研究室=090-5011-1452、a-yamano@ic.oiu.ac.jp)

オース!ごきげんさん。

連載 42



教室と世の中の懸け橋と
なる社会科授業の
実践

実践

2011年7月、

日本教育界最高の賞と
評される「読売教育賞」

(社会科教育部門) 最優秀賞

を受賞しました。(テーマ「教室と世の中
の津梁(懸け橋)となる社会科授業
の実践」沖縄で世の中の問題と主体的
に向き合う」)

今私がめざす社会科教育は、世の中
の生きた知識と教室の子どもたちがつ
ながった、新しい授業スタイルの実践
です。世の中と教室の懸け橋となるこ
とが社会科教員としての自分の役割だ
と考えています。

これまで授業には教師とは違う様々



▲読売教育賞表彰式(2011.7.15)(読売新聞社提供)

な大人が参加し、世の中の知識を教室
に持ち込んでいただきました。死刑制
度を学ぶ授業では弁護士、国際協力
を扱う時間には世界で活躍する医師、
宗教を学ぶ授業ではタイの僧侶など、
数えればきりがありません。多くの方々に
授業にかかわっていただきました。

現在では沖縄が抱える

地域の問題を中心に取り
上げ、生徒たちがその解
決に向けて具体的な提案
まで行っています。沖縄
の観光については、その
現状を調査し、新しい旅
行プランを旅行業界にプ
レゼンしました。

また沖縄の厳しい雇用
情勢を受け、沖縄県知事
に若者の就労意識を高め
る新事業を提案しました。
現在その取り組みが県の
助成事業の認定を受け、
中学生たちが活動を進め
ています。

中学生たちが教室で世
の中の問題と向き合い、
そこで獲得した知識と知恵を社会に
向けて積極的に発信し続けています。
彼ら中学生の行動が沖縄の社会を少
しずつ動かし始めているのです。

きっかけは大学時代に会った
オキナワ

沖縄との出会いは大学時代にさかの

自分が動けば、社会も動く

〈上〉 門林 良和

ぼります。生涯の
恩師となる田中欣
和教授(現関西大
学名誉教授)のゼ
ミを選択したこと
で、自分と沖縄が
つながる機会を得
ました。ゼ

ミでは毎年
の沖縄研修
旅行が伝統
となってい
ました。大
学3年生
の夏、田中
教授に連れ
られ訪れた
沖縄で、生涯忘れることので
きない光景を目の当たりにし
ました。

アスファルトが焼け付くよ
うな真夏の陽射しの中、沖縄
北部の米軍施設の入り口で老
人がたった一人プラカードを
掲げながら叫んでいました。

「no more base, no more

war」

まさに答えの出せない世の中の問題
と向き合う老人の姿がそこにはありま
した。それまでの私にとって権力に立
ち向かう市民の姿は、テレビで見かけ
る遠く離れた外国の話でした。平和だ
と信じていた日本で目にしたこの光景
は、日本の南の小さな島に確かに存在

自分が動けば、社会も動く

が抱える課題の解決策を考
え、教室の外に発信する取
組みを行っている。
テーマに合わせて観光業
者や弁護士、県職員ら実社
会に活躍する人々を教室
に招き、生徒は「現場の声」
を聞く。その後、約5人の
グループで話し合うが、門
林教授が必ず確認するのは
「間違っていない」と



生徒とともに「現場」の大切さを考える門林教授

谷川彰英・筑波大学名誉教
授沖縄に「現場」にあて
その抱える「世の中の問題」
と向き合った数々の実践。世
の中と教室をつなぐと
する教師の姿が生きてい
わねば、本来の社会科は
そのようものであった

「労働」を聞き、冊子にまと
める「職業図鑑」を作る案
が生まれた。門林教授は県
の雇用推進事業に申請し、
作成費の補助を受けること
が決定。来春にも県内の公
共施設で配布される。「中
学生でも社会の一員」。生
徒からはそんな気持ちが生
み出ている。

(松浦寛)

▲読売新聞(2011.8.10)(読売新聞社提供)

門林 良和 (かどばやし・よしかず)

学校法人興南学園興南中学校社会科教諭。
2004年関西大学文学部教育学科卒業。大
学職員を経て大阪で私立学校教員となる。
2008年より同校に勤務するため沖縄に移住。
「自分が動けば、社会も動く」をモットーに、
教室で世の中の問題と主体的に向き合う人材
の育成を目指す。2011年度、日本最高の教育
賞と評される読売教育賞で最優秀賞を受賞。
沖縄から全国へ、新しい社会科授業のスタイル
を発信し続けている。1981年生まれ。大阪府岸
和田市出身。
mail: kadomail13@yahoo.co.jp

守る、 創る、 思いやる ビルへ。



野坂徹夫：画

災害から人々の暮らしを守る。
エネルギーを創り、分けあう。
都市を、そして地球を思いやる。
これからのビルはこうじゃないとね。

想いをかたちに

 竹中工務店